

# 文学部

語学科目 履修案内

Language Courses Guide  
2022

**Faculty of Letters**

# 外国語の履修にあたって

## 英語

外国語の学習においては、言うまでもなく「読む・書く・聞く・話す」という4つの能力の向上が求められます。これらの能力が均等に向上して、初めて真の意味での外国語の習得が可能になるのです。しかし教室における授業では、週2回（合計180分）という時間の制約があり、4つの能力をまんべんなく伸ばすことは困難です。

そこで文学部の英語必修科目では、2年次以降に多くの専攻できわめて重要になる「読解力」が十分であるか否かを基準として、レベル別のクラスによる授業を展開します。またそのため英語履修者全員を対象として、「読解力」によりレベル分けをするためのプレースメントテストを実施します。入学直後には1年次のレベル分けのため、1年次学年末には2年次におけるレベル分けのためのテストを行います。

プレースメントテストの結果、専門課程において「原典講読」などの授業に必要とされる読解力をすでに持つと判定された場合は、読解以外の授業内容が多く用意されている「上級」あるいは「中級発展」を履修します。一方、読解力のさらなる強化が必要であると判定された場合は、読解に特化した授業が行われる「中級」あるいは「基礎」を履修します。

プレースメントテストで自分がどのレベルに振り分けられたかを確認し、各レベル別に用意されたクラスから2コマを履修して下さい。（ただし、「最上級（帰国生対象）」、「基礎」は例外なので注意。）

また、帰国生および海外滞在歴がある者、英語以外の外国語による受験生は、履修にあたっての特別な指示があるので、「英語特別クラスガイダンス」に必ず出席してください。

### プレースメントテストで判定されたレベル別の履修上の注意

#### 最上級（帰国生およびそれに準ずる者）

文学部設置の帰国生対象である「英語Ⅰ最上級／英語Ⅱ最上級」の201、および外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマの、合計2コマを履修。「英語特別クラスガイダンス」に出席し、面接を受け承認を得ることが必要です。英語の運用能力が実用上すでに十分に備わっている学生が、英語を使つての様々なコミュニケーション能力をさらに高めることを目的にしています。

#### 上級（帰国生以外）

文学部が設置する「英語Ⅰ上級／英語Ⅱ上級」の6コマ（191～196）の中から、2コマを履修。読解力はすでに十分である学生が、読解以外の発信型の英語能力を養成することを目的にしています。

#### 中級発展

「中級発展」のクラスから2コマを履修。

「中級発展」には、主にネイティブスピーカーによる発信型のクラスと、主に日本人教員によるリーディング中心のクラスが用意されています。バランスのとれた英語力を養成することを目標にしています。

#### 中級

「中級」のクラスから2コマを履修。

「中級」に設置されているクラスはいずれも、2年次以降の専門課程において必要とされる英語読解力を養成することに主眼を置いています。

#### 基礎

「基礎」と「中級」のクラスを、それぞれ1コマずつ履修。

対象者は、「基礎」のクラスを1コマ「指定」されます。もう1コマは、本冊子3ページの担当者名に“\*”のついている「中級」のクラスから各自1コマを選択し履修してください。

## 各レベルのWebエントリー上の注意

### 最上級 (帰国生およびそれに準ずる者)

プレースメントテストで「上級」判定を受け、さらに「英語特別クラスガイダンス」にて面接の上、許可を得た者のみが対象。下記のいずれかの方法で履修の手続きをすること。

- ・文学部設置の1コマ(帰国生を対象とする「英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級(201)」が履修可能な場合: 文学部でのWebエントリーは不要。もう1コマは外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンスト英語」6コマの中から1コマを履修する。これは同センターにて別途手続きすること。
- ・文学部設置の「英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級(201)」が履修できない場合: 文学部でのWebエントリーは不要。外国語教育研究センター設置の「英語最上級 アドバンス英語」6コマの中から2コマを履修。同センターにて別途手続きすること。

### 上級 (帰国生以外)

文学部設置の「英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級」の6コマ(191~196)の中から、履修したいクラスを第6希望まで選び、Webエントリーを行う。

### 中級発展

「中級発展」のカテゴリーのクラス(161~183)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

### 中級

「中級」のカテゴリーのクラス(114~160)から、第8希望までを選び、Webエントリーを行う。

### 基礎

「基礎」のクラスは「指定」されているのでWebエントリーは不要。もう1コマは、本冊子3ページの「中級」のカテゴリーのクラス(114~160)のうちで担当者名に“\*”のついているクラスから、履修したいクラスを第8希望までを選び、Webエントリーを行う。中級と基礎のクラスの教員が重複しないように選択してください。

## 全レベル共通: 履修までの手続き

- 1) 3月31日(木)の、英語プレースメントテストを受けてください。読解力のテストです。当日、必ず筆記用具を持参してください。

3月29日(火)に下記の「新入生お知らせシステム」で自分の学籍番号(8桁)と組を必ず確認してください(入学手続き完了者への配布物同封の「クラス・学籍番号・履修語学等の発表について」を参照)。

クラス発表: 「新入生お知らせシステム」 <https://fresh.keio.jp/>

- 2) 4月1日(金)の「レベル分け」発表で各自のレベルを確認し、「英語履修者ガイダンス」に出席の上、語学科履修案内の「英語Ⅰ/英語Ⅱ」の中から、上記の注意に従い履修したいクラスを選択する。

レベル発表: <http://keio.jp> (keio.jp「News」欄) 4月1日(金) 9:00以降準備でき次第公開

- 3) keio.jp内「Webエントリーシステム」より、希望する講座のエントリー登録を行う(4月2日(土)13:00締切)。

※詳細は、4月1日の英語履修者ガイダンスで配布する「必修語学科履修要領(英語)」で確認してください。

- 4) コンピュータ処理による抽選により希望クラスの調整が行われ、その結果は、4月4日(月)9:00(予定)に発表される。

「最上級」以外の者は、発表されたクラスの履修申告は不要。

クラス発表: <http://keio.jp/> keio.jp「News」欄 4月4日(月) 9:00以降準備でき次第公開

## 5) 「英語Ⅰ／英語Ⅱ」講座番号表

『各レベルのWebエントリー上の注意』の指示に従い、下記の表を参考に講座番号を選んでください。

## 【英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
114	木 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	井口 篤*
115	金 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	市川 佳世子
116	木 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	宇沢 美子*
117	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	江崎 麻里
118	金 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	大島 範子
119	金 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	大島 範子
120	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小川 真理
121	火 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小川 真理
122	水 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	加藤 彩雪
123	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	加藤 有佳織*
124	月 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	加藤 有佳織*
125	木 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	川瀬 絢子
126	月 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	熊代 文子
127	月 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	熊代 文子
128	火 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	倉科 真季
129	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 有加
130	月 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 有加
131	水 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小泉 由美子
132	水 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	小竹 直
133	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	近藤 真彫
134	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	近藤 真彫
135	火 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	佐藤 健
136	金 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沢村 静
137	金 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沢村 静
138	月 4	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	志子田 祥子
139	月 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
140	木 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 宣也*
141	月 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 三和子
142	月 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	高橋 三和子
143	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	田辺 寛
144	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	田辺 寛
145	月 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	辻 秀雄*
146	月 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	津田 敦子
147	木 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	徳永 聡子*
148	木 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	冨塚 亮平
149	金 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	中村 哲子
150	水 5	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	新居 達也
151	火 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	新名 ますみ
152	火 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
153	火 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	沼田 香穂里
154	水 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	辺見 葉子*
155	水 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	堀 美里
156	水 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	堀 美里
157	金 1	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	溝部 敦子
158	金 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	溝部 敦子
159	木 2	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	和氣 直子
160	木 3	英語Ⅰ中級/英語Ⅱ中級	和氣 直子

## 【英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
111	月 1	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	加藤 有佳織
112	金 5	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	辻 秀雄
113	木 1	英語Ⅰ基礎/英語Ⅱ基礎	徳永 聡子

## 【英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
161	金 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	市川 佳世子
162	木 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	宇沢 美子
163	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	江崎 麻里
164	月 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	加藤 有佳織
165	火 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	倉科 真季
166	水 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	小泉 由美子
167	水 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	小竹 直
168	火 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	濟藤 葵
169	月 5	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	志子田 祥子
170	火 3	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
171	木 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	高橋 宣也
172	火 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
173	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	チータム, ドミニク
174	金 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	辻 秀雄
175	月 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	津田 敦子
176	水 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	徳永 聡子
177	火 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	新名 ますみ
178	火 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメツ, ナンシー E
179	木 1	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ピアソン・ウメツ, ナンシー E
180	水 2	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
181	木 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	辺見 葉子
182	月 3	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ヤング, ジェローム
183	金 4	英語Ⅰ中級発展/英語Ⅱ中級発展	ロ・ディコ, マウロ

## 【英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
191	月 3	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	タイ, ワンチェン
192	火 2	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	バナード, ピーター
193	火 2	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ピアソン・ウメツ, ナンシー E
194	木 2	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ラーデマッハ, ジェハジン M
195	木 3	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ラーデマッハ, ジェハジン M
196	金 5	英語Ⅰ上級/英語Ⅱ上級	ロ・ディコ, マウロ

## 【英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級】

講座番号	曜日 時限	授業科目名	担当者名
201	月 2	英語Ⅰ最上級/英語Ⅱ最上級	タイ, ワンチェン

## 英語Ⅰ／英語Ⅱ 講義要綱

### 【基礎】

#### 英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

#### 英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号：111

セット履修

加藤 有佳織

##### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

##### 成績評価方法：

テスト(60%)、平常点(授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%)を総合して評価します。

##### テキスト(教科書)：

町田健、豊島克己『大学生のための英文法再入門』(研究社、ISBN: 978-4-327-42193-9)

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

##### 参考書：

山口俊治『英語構文全解説』(研究社、ISBN: 978-4-327-45255-1)

##### 担当教員から履修者へのコメント：

100点換算で60点以上が単位修得の目安となります。原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。必ず予習・復習にとりこんでください。

授業は基本的に対面で行います。第1回は対面の予定です。課題内容により、数回オンライン・オンデマンドで実施します。

##### 質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

#### 英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

#### 英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号：112

セット履修

辻 秀雄

##### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

##### 成績評価方法：

テスト(60%)、平常点(授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%)を総合して評価します。

##### テキスト(教科書)：

町田健、豊島克己『大学生のための英文法再入門』(研究社)

ISBN: 978-4-327-42193-9

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

##### 参考書：

山口俊治『英語構文全解説』(研究社)

ISBN: 978-4-327-45255-1

##### 担当教員から履修者へのコメント：

春学期第1回授業は対面の予定です。

100点換算で60点以上が単位修得の目安となります。

原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。

体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。

必ず予習・復習にとりこんでください。

##### 質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

#### 英語Ⅰ基礎 1単位(春学期)

#### 英語Ⅱ基礎 1単位(秋学期)

英語文法・構文の復習

講座番号：113

セット履修

徳永 聡子

##### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

単語レベルの意味は分かるのに、文の内容がなんとなくしか捉えられない。あるいは、いくら辞書を引いても少し複雑な文になるとお手上げになってしまう。これらは文を構成する固まりを理解するための基本事項の学習不足の典型的な症状です。この授業では、短めの文章を構造的に読み解くなかで、英文解釈の要となる構文と文法の復習と語彙や成句の強化を行います。一年を通じて、各専攻で必要となる英文読解に対応できるよう、徹底的に英語読解の基礎を補い応用力を養うことを目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

##### 成績評価方法：

テスト(60%)、平常点(授業態度・予習・復習・出席・小テスト等、40%)を総合して評価します。

##### テキスト(教科書)：

町田健、豊島克己『大学生のための英文法再入門』(研究社)

ISBN: 978-4-327-42193-9

生協で購入してください。他に補足用のプリントを配布します。

##### 参考書：

山口俊治『英語構文全解説』(研究社)

ISBN: 978-4-327-45255-1

##### 担当教員から履修者へのコメント：

- ・春学期第1回授業は対面の予定です。
- ・100点換算で60点以上が単位修得の目安となります。
- ・原則として欠席は半期に4回までしか認められません。遅刻、早退2回で欠席1回とカウントします。また、半期に欠席が3回以上あった場合には成績評価に悪影響が出ます。
- ・体育会や部活動の練習・試合による欠席は公欠として認められません。
- ・必ず予習・復習にとりこんでください。

##### 質問・相談：

授業の前後やメール、事前の予約による面接で受け付けます。

### 【中級】

#### 英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

#### 英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

RS The Idea of Romantic Love: Reading Alain de Botton's "Essays in Love"

講座番号：114

セット履修

井口 篤

##### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

Do you believe in romantic love? Most of you will probably say 'but of course!'. But there are some people with a sceptic cast of mind who take the trouble to engage in extensive examination of what it means to love, or whether it is possible to love someone at all. It is certainly a weighty matter with which countless writers and philosophers have so far grappled in vain, but there's an easy and fun way to think about all this: to read the

philosopher Alain de Botton's witty and humorous novel *Essays in Love* (1993). This work takes the form of romantic novel, but each chapter is interspersed with the author's meandering yet insightful investigation into the meaning and possibility of love, thereby providing the reader with ample opportunities to ponder. By the time you finish reading this novel-cum-philosophical-treatise, you will be terribly enlightened about a number of angles from which to approach this seemingly intractable theme.

Since we aim to finish reading this novel by the end of the academic year, we won't be able to do word-for-word translation with every single page; rather, we will be focussing on those passages that the instructor deems difficult and therefore need detailed explanation. The participants will be expected to do the reading homework assigned to them each week. They will also need to do one 5-minute oral presentation in English on a chosen topic and take an end-of-term exam in both Spring and Autumn Terms. No more than 3 absences will be allowed.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

The assessment will be based on regular attendance (20%), class participation (20%), one presentation per term (20%), and an end-of-term exam (40%)

テキスト(教科書):

Alain de Botton, *Essays in Love* (London: Picador, 2015) [ISBN: 978-1447275329]

担当教員から履修者へのコメント:

Anyone who's ever wondered what love is, or who's interested in reading philosophical and literary meditations on love in English, will be welcome!

質問・相談:

Questions can be asked during, before, and after the class, either in person or by email.

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RL 美術史家ゴンブリッチの著した世界史を読む

講座番号: 115

セット履修

市川 佳世子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

二十世紀の最も偉大な美術史家の一人であるエルンスト・ゴンブリッチが若い読者に向けて書いた世界史の本を英語で読む。全文を訳読するのではなく、全体的な内容を把握し、背景の知識を補いつつ、著者の美術史家としての視点の置き方について、関連作品の鑑賞もしながら考察する。世界史が好きな人と苦手な人の両方にとって、新たな視点から教養を深めつつ総合的に英語力を向上させる機会とすることを目的とする。授業ではアカデミック・リーディングのためのストラテジーを学んだ上で、テキストの読解に基づいた短い発表とディスカッションを行い、自ら問いを立て、意見を述べる力を養う。また、動画・音声教材を用いたリスニングも取り入れ、英語によるインプットと語彙力を増やすことを目標とする。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

以下による総合的な評価:

- ・平常点(予習・出席状況と授業への貢献度) 20%
- ・発表 30%
- ・学期末試験の結果 50%

テキスト(教科書):

Gombrich, E. H. (2008). *A Little History of the World (Little Histories)*. Yale University Press. ISBN: 9780300143324

ペーパーバック版を慶應生協日吉店で購入してください。

参考書:

『美術の物語』エルンスト・H・ゴンブリッチ著 天野衛ほか訳 河出書房新社 2019年 ISBN: 9784309256283

その他、随時紹介する。

担当教員から履修者へのコメント:

1. 授業は、発表やディスカッションも含め、基本的には日本語で進行しますが、英語での発表や発言・コメントも歓迎します。
2. 毎回、章ごとに担当者を決めて短い発表をしてもらった後にディスカッションを行いますので、各回の範囲のテキストの内容を必ず予習したうえで授業に臨み、積極的な発言を心がけてください。授

業時間外の読書、課題、発表準備や復習などの学習活動に少なくとも毎週90分を費やすことを目安としています。

3. 発表に関してはその場で他の参加者からのピアフィードバックと教員からのフィードバックを行います。試験に関しては採点した答案を返却し、授業内もしくはLMSを通じて全体へのフィードバックを行う予定です。

4. 初回授業から全て対面で行う予定です。変更がある場合にはLMSを通じて連絡します。毎回出席することを原則とします。やむを得ない事情で欠席する場合は必ず事前に(もしくは直後に)連絡すること。

質問・相談:

授業前後に対応します。必要に応じてメール(k.ichikawa@keio.jp)でも受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RL ジェイムズ・サーバーのユーモア短編小説を読む

講座番号: 116

セット履修

宇沢 美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中級レベルの読解クラスです。アメリカのユーモア作家として名高いジェイムズ・サーバーの短編集を読みます。作品の精読を通じて基礎的な読解力を養成しながら、このユーモア作家の重層的な文章スタイル、ヘタウマなイラストなどを解釈し、その笑の世界を探っていきます。

動画等の視聴を課題に出すことでリスニング能力やノートテーキングの練習も加える予定です。出席ならびに予習は必須です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- 1) 試験による評価(50%)
- 2) 平常点: 出席、授業への貢献および課題等による評価(50%)により総合的に評価します。

テキスト(教科書):

James Thurber, *The Thurber Carnival* (Penguin Classics, 2014).

ISBN-10: 0141395974 ISBN-13: 978-0141395975

担当教員から履修者へのコメント:

毎週Canvas LMSを通してリスニング他の課題が出される。また、課題への回答は、クラス全体に対してコメント付きで公開される可能性もある。基本的に対面授業を予定しているが、COVID 19の状況が悪化した場合は、オンラインに切り替え、Canvas LMSにてそれを通知する。

質問・相談:

uzawa@keio.jpで随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RR イギリスの建築と文化

講座番号: 117

セット履修

江崎 麻里

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本科は、精読と多読を通し、専門分野の英語文献を読みこなす力を培います。

春学期は、イギリスの歴史と文化を概観します。アフタヌーンティからラグビー校、世界最古の地下鉄チューブから大英博物館、シェイクスピアに至るまで、イギリスならではの文化に触れましょう。秋学期は、歴史的建造物に着目します。何百年も営業しているパブの軒先に、奇妙なキュウリの形をした全面ガラス張りのビルが建つロンドンの街並み。イギリスを代表する建造物を通して、その精神に触れましょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

- 日常点(出席点・課題・発言) 60%
- 春学期・秋学期試験 40%

テキスト(教科書):

1. Adrian J. Pinnington著『イギリスを読む』開文社 2013年 ISBN: 978-4-87571-466-8

2. *British Society through its Buildings* 英宝社 2017年 ISBN: 978-4-269-15019-5

**参考書:**

授業中に随時、紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RR) 英語で医学史を学ぶ

講座番号: 118

セット履修

大島 範子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、Roy Porterの、医学史についての概説書*Blood and Guts: A Short History of Medicine* (2002)を精読します。西洋医学の(必ずしも単純な技術的進歩の歴史とは言えない)歴史を英語で学ぶことで、英語をより速く正確に読む訓練をしながら、同時に、医療や身体、あるいは病気という概念の、歴史における文化的・社会的側面について考えることを目的とします。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業態度50%、学期末の試験50%で評価します。

**テキスト(教科書):**

Porter, Roy. (2003). *Blood and Guts: A Short History of Medicine*.

Penguin. ISBN: 978-0141010649

**参考書:**

必要な場合は適宜配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、予習をしっかりしてくることが前提の授業になります。また、内容についてのディスカッションでは皆さんに発言を求めます。最初は緩やかなペースで初めて、慣れてきたら少しずつ一回に読むペースを増やしていきましょう。

**質問・相談:**

授業時に受け付けます。また、初回授業でお知らせするメールアドレスへの相談も受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RR) Angela Carter の *The Bloody Chamber* を精読する

講座番号: 119

セット履修

大島 範子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、イギリスの小説家Angela Carterの、おとぎ話を原型とした短編集*The Bloody Chamber* (1979)から、いくつかの短編を取り上げて精読します。小説を、文法的な正確さを保ちつつ、情景を想像し、楽しみ、内容について考察しながら読めるようになることを目的とします。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業態度50%、学期末の試験50%で評価します。

**テキスト(教科書):**

Carter, Angela. (2015). *The Bloody Chamber: And Other Stories*. Penguin Classics. ISBN: 978-0143107613

**参考書:**

必要な場合は適宜配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

履修者の皆さんには、毎回、順番に本文の和訳をしていただきますので、しっかりと予習をしていくことが前提の授業になります。また、内容について考察する際には、皆さんに発言を求めます。最初は緩やかなペースで始めて、慣れてきたら少しずつ一回に読む分量を増やしていきましょう。

**質問・相談:**

授業前後・メールで受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RL Reading and Critical Thinking

講座番号: 120

セット履修

小川 真理

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

CEFR C1レベルの教科書を使い、様々な内容の文章を読み、練習問題を解きます。自然な英語の文章、表現、語彙に慣れることで、教材ではない英語が自分で読めるようになることを目的とします。また、教科書に付属のオンライン・ワークブックも活用してビデオのリスニングも行います。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点(授業準備を済ませて授業に参加すること) 45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は不合格となります。やむを得ない理由を除き、3回の遅刻で1欠席に換算します。

**テキスト(教科書):**

Williams, Jessica. (2018). *Prism Reading 4*. Cambridge University Press.

ISBN: 978-1-108-63848-7

Cambridge LMS

<https://www.cambridgelms.org/main/p/splash>

**担当教員から履修者へのコメント:**

教科書で知った内容について英語で調べるなどして、教材ではない英語に日常的に触れましょう。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RL Close Reading

講座番号: 121

セット履修

小川 真理

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

TOEIC 750点~(CEFR B2-C1)レベルの教科書を学習し、様々なトピックを扱った本格的な文章を読み込みながら、テーマに関する知識と理解を深めます。リーディングや語彙などの学習に加えて、「スーパープレゼンテーション」TEDカンファレンスの映像を使った学習も行います。

通常の洋書レベルの英文読解に慣れること、様々な問題に対する考えを深めること、リスニングのインプットを増やすことを目標とします。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点(授業準備を済ませて授業に参加すること) 45%

各学期末試験 55%

やむを得ない事情を除き、各学期5回以上の欠席は不合格となります。やむを得ない理由を除き、3回の遅刻で1欠席に換算します。

**テキスト(教科書):**

Laurie Blass and Jessica Williams, *21st Century Reading 4* (Cengage,

2016) ISBN: 978-1-305-26572-1

教科書の本文朗読音声とTEDカンファレンスの動画は以下からアクセス可能です。

<https://eltngl.com/sites/21st-century-reading/student/book-4/audio>

<https://eltngl.com/sites/21st-century-reading/student/book-4/video>

**参考書:**

下記のような大辞典が必要になるでしょう。

高橋作太郎編『リーダーズ英和辞典 第3版』ISBN: 9784767414225

小西友七・南出康世編『ジーニアス英和大辞典』ISBN:

9784469041316

電子辞書であれば英語専門モデルをお薦めします。

『英語構文全解説』山口俊治著 研究社 2013年 ISBN:

978-4327452551

**担当教員から履修者へのコメント:**

英語を使ってより多くの、且つ様々な視点からの情報を得られるように、また2年次からの専門課程で英語で文献調査ができるように、日々、教材ではない英語を聴いたり読んだりして、インプットを積み重ねましょう。

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

(RW) イギリス文学を通して学ぶ英語

講座番号: 122

セット履修

加藤 彩雪

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

春学期は「奇妙な味」と評されるロアルド・ダールの短編小説を取り上げます。日常会話の中に隠された人間の狂気や幻想、そして複雑な心の機微を感じ取りながら、ミステリーやサスペンスの奥深さを味わいます。秋学期は、アガサ・クリスティの法廷劇『検察側の証人』を取り上げ、粘り強く一冊の本を読み切ります。検事と弁護士の緊迫したやりとりが、どのように英語で語られているか迫りながら、語彙力や正確に英語を読む力を向上させます。さらに、戦後のイギリスの諸問題への洞察を深めることも目指します。クリスティのミステリーを丁寧に味わいましょう。

授業では、まず段落全体の大まかな内容を把握し、次に一つ一つの文章の意味を確認していきます。また、テキストを通して学んだ言い回しを暗唱し自らアウトプットする時間や、読み取ったことを発信する時間も設けます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点やレポートを総合的に評価します。

**テキスト(教科書):**

・『検察側の証人』アガサ・クリスティ著 尾崎寄春/西澤光代 編注 英宝社 2010

ISBN: 9784269080355

・『検察側の証人』アガサ・クリスティ著 加藤恭平訳 早川文庫 2004

ISBN: 9784151300677

その他プリント配布 (keio.jp にアップします)

**参考書:**

授業にて適宜紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

・対面とオンライン(オンデマンド)を併用して授業をします。初回は、対面で行います。

・該当箇所の予習をして授業を受けてください。課題は、添削をしてコメントを添えて返却いたします。

**質問・相談:**

質問・相談は授業終了後または、メールにて受けます。

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RL *All the Light We Cannot See* を読む

講座番号: 123

セット履修

加藤 有佳織

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

論説文と小説を教材にしながら、読解力と聴解力を養います。各回前半は、論説文に基づく速読練習と聴解練習を行ない、早く正確に要点を捉える練習をします。この練習について予習は不要ですが、各自で未習語彙や文法事項を復習してください。続いて、Anthony Doerr の長編小説 *All the Light We Cannot See* (2014年) を読み進めます。ナチスドイツ占領下にあるフランスを舞台に、目の見えない少女とドイツの少年を中心に展開する作品です。読解クイズやディスカッションをとおして小説を読み解く力を養います。履修者のみなさんには、継続的に課題に取り組むこと、授業へ積極的に参加することがもめられます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

論説文読解・聴解課題 (30%)、小説読解 (30%)、ディスカッション (20%)、期末テスト (20%) による総合評価とします。それぞれ60%以上を満たすことが前提です。

**テキスト(教科書):**

\* Anthony Doerr, *All the Light We Cannot See* (HarperCollins, 2015; ISBN 978-0-00-813830-1) ※紙版・電子版問いません。

\* 他にCANVAS上で資料を配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は基本的に対面で行います。第1回は教室へお越しください。課題内容により、数回オンライン・オンデマンドで実施します。

**質問・相談:**

随時メールでお受けします: ykrkt@flet.keio.ac.jp

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RW 移民の歴史

講座番号: 124

セット履修

加藤 有佳織

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

移民の歴史を主題とする新聞・雑誌記事や研究書抜粋を読みながら、論説文を読む力とアカデミックな文章を書く力を養います。授業では、読解クイズやディスカッションを行い、課題文の内容理解を深めます。次に、課題文についてパラフレーズ・要約・作文課題に取り組み、論説文から得た情報をまとめ、考えたことを表現する練習をします。履修者のみなさんには、継続的に課題に取り組むこと、授業へ積極的に参加すること、関連事項を調べ批評的に考えることがもめられます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

読解クイズ (20%)、ディスカッション (20%)、パラフレーズ・要約・英作文課題 (40%)、期末テスト (20%) による総合評価とします。それぞれ60%以上を満たすことが前提です。

**テキスト(教科書):**

CANVAS上で資料を配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は基本的に対面で行います。第1回は教室へお越しください。課題内容により、数回オンライン・オンデマンドで実施します。

**質問・相談:**

随時メールでお受けします: ykrkt@flet.keio.ac.jp

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RWS 英語の記事を読む

講座番号: 125

セット履修

川瀬 絢子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、英語で様々なトピックの記事を一人ずつ選んで頂き、プレゼンテーションを行います。さらにグループに分かれてディスカッションを行い、記事の理解を深めていきます。プレゼンテーションの回数は履修人数によって決まります。配布資料はkeio.jpを通して配布され、授業後にはサマリーとライティングの課題提出があります。対面・オンライン併用の授業となりますが、詳細なスケジュールは初回にてお知らせします。初回は教室にて行います。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

・平常点 (出席、授業や課題への取り組み)

・プレゼンテーション

の総合点で評価します。

**テキスト(教科書):**

keio.jpで資料は配布します。

**参考書:**

随時紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

この授業では記事を読み進めますが、プレゼンテーションやディスカッションもあるため、積極的な参加ができる方を歓迎します。しっかりと記事を読み、理解し、スピーキングやライティングにも活かせるようにしましょう。

**質問・相談:**

授業前・授業中・授業後、またメールでも受け付けます。メールアドレスは初回の授業でお知らせします。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RL ニュースを見る、読む

講座番号: 126

セット履修

熊代 文子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

英字新聞を編集したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、短い英語ニュースの映像も並行して見ていきます。

リーディングの教材として、*Trends in Transition ニューヨークタイムズで時代を読む*を使用します。また、英語ニュースの教材として、*CBS News Break 4*と補助教材を使用します。

辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。基本的に毎回、リーディングと英語ニュースのいずれかまたは両方に関して、課題が出されます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照**成績評価方法:**

出席点及び課題40%、授業内小テスト10%、学期末試験50%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

**テキスト(教科書):**

- Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2011). *Trends in Transition ニューヨークタイムズで時代を読む*. 英宝社.

- Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. (2019). *CBS News Break 4*. 成美堂.

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は、対面で行う回とオンデマンドで行う回があります。詳細は、初回の対面の授業で説明します。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RL ニュースを見る、読む

講座番号: 127

セット履修

熊代 文子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

英字新聞を編集したテキストを読む、リーディングを核とする授業ですが、短い英語ニュースの映像も並行して見ていきます。

リーディングの教材として、*Change and Conflict ニューヨークタイムズの窓から*を使用します。また、英語ニュースの教材として、*CBS News Break 5*と補助教材を使用します。

辞書を使いながら、自分の力で題材を理解することが要求されます。基本的に毎回、リーディングと英語ニュースのいずれかまたは両方に関して、課題が出されます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照**成績評価方法:**

出席点及び課題40%、授業内小テスト10%、学期末試験50%の配分で算出した総合点に基づいて決定します。ただし、授業態度に著しく問題があると認められる場合は、総合点の如何に関わらず単位は取得できません。

**テキスト(教科書):**

- Rume Kita & Keith Wesley Adams. (2014). *Change and Conflict ニューヨークタイムズの窓から*. 英宝社.

- Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. (2021). *CBS News Break 5*. 成美堂.

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は、対面で行う回とオンデマンドで行う回があります。詳細は、初回の対面の授業で説明します。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RL 難解な文章の精読に挑戦する

講座番号: 128

セット履修

倉科 真季

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、主に教科書の文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指します。毎回の授業で扱う英文は、様々な小説・

エッセイ・論文からの抜粋です。講読する一回あたりの文章はそれほど長いものではありませんが、それぞれきちんと文法や個々の単語の意味を確認しなければ読み解けない内容となっているので、一文ずつ英語を分析するつもりでじっくりと精読を行います。

また、教科書では基本的に各々の作品の一部を読解することになるため、特に文学作品を扱う場合などは作品全体への理解も深めてもらえるよう、補足の資料や映画等をその都度用いていくつもりです。

加えて、授業の始めに短い動画を使用したリスニングの練習も行う予定です。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照**成績評価方法:**

平常点(教科書問題への解答・グループワークへの参加): 40% / 期末試験: 40% / 期末課題: 20%

**テキスト(教科書):**

葉袋善郎編著『名文で養う英語精読力』(研究社、2009年) ISBN: 978-4-327-42179-3

**担当教員から履修者へのコメント:**

毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨むようにしましょう。

個々の文章の意味を理解するだけではなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思います。

授業では、グループワークやそれに対するフィードバックをその場で行いながら本文の内容理解を深めていきます。

**質問・相談:**

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けます。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RW Reading Fairy Tales

講座番号: 129

セット履修

小泉 有加

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

よく知られたfairy taleを題材に、その歴史的背景に関する論考や、後世の作家による再話などを取り上げます。様々な時代に作られたfairy taleを比較することで、それぞれの時代の特徴や作家の関心事が浮き彫りになります。授業では、テキストを受動的に読む作業だけでなく、異なる時代に書かれたfairy taleの違いが映し出すものは何かということを自発的また批判的に思考し、アウトプットすることが求められます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照**成績評価方法:**

平常点(予習や授業への取り組み)、課題の提出、期末試験の総合点で評価します。

**テキスト(教科書):**

授業もしくはkeio.jpで配布します。

**参考書:**

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). *Writing Academic English*. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業ではグループワークがあります。予習をして授業に出席すること、積極的に発言・参加することが求められます。

**質問・相談:**

授業の前後やメールで受け付けます。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RW Building Academic Skills in English

講座番号: 130

セット履修

小泉 有加

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、各学期に2~3のテーマを取り上げ、テーマに関連した学術書や新聞記事の読解を行います。読解力向上に基軸を置きつつ、授業では時おり、スピーキング、リスニング、ライティング

の機会を設け、英語でのアカデミック・スキルを向上させることを目標とします。

春学期はlinguistics、literature、political science、秋学期はliterature、sociologyに関する文献を取り上げる予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習や授業への取り組み)、課題の提出(リーディング、ライティングなど)、期末試験の総合点で評価します。

テキスト(教科書):

授業もしくはkeio.jpで配布します。

参考書:

Oshima, Alice, and Ann Hogue. (2006). Writing Academic English. 4th edition. Pearson Longman. ISBN: 978-0-13-152359-3

担当教員から履修者へのコメント:

授業ではグループワークがあります。予習をして授業に出席すること、積極的に発言・参加することが求められます。

質問・相談:

授業の前後やメールで受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RR エッセイ集『なおも奇妙な岸辺』を読む

講座番号: 131

セット履修

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、J・M・クッツェー(1940-)のエッセイ集『なおも奇妙な岸辺』(2001年)を読み進めます。クッツェーはケープタウン生まれの小説家。読むこと、書くこと、訳すことに対する彼の思索とそこに孕まれる奇妙な違和感のうつろいをゆっくり丁寧に辿りながら、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。毎回、5ページ程度の予習(和訳)がもとめられます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習・出席)、学期末テストの総合点で判断します。

テキスト(教科書):

J.M. Coetzee, *Stranger Shores: Essays 1986-1999* (2001; Vintage, 2002)

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RL ゲーテンベルク聖書から始める書物史

講座番号: 132

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

書物史の金字塔のひとつ「ゲーテンベルク聖書」を足掛かりに洋の東西を問わず書物の歴史について書かれた複数の英文を読みながら、対象への理解を深めつつ、英文を正確に読む力を養うことが本講義の目標です。

世界で50冊にも足らない数しか現存しない非常に貴重なゲーテンベルク聖書の一冊が慶應にあります。1996年に慶應にたどり着くまでの500年以上、この一冊の書物はどのような歴史をたどってきたのでしょうか。本講義では、まずゲーテンベルクという人物と彼の発明について読み進めることから始め、その聖書の一冊が慶應にやってきた経緯にもスポットライトを当てます。

またより広い意味での書物史を考えるため、ゲーテンベルク以前の西洋の手書きの書物(「写本」と呼ばれます)や日本での書物や印刷の歴史について書かれた英文も利用します。

毎回の授業では、英語の訳読に加えて、トピックに関連した映像資料を利用し、ディクテーションの課題に取り組んでもらい、リスニング力の向上を図りながら多角的に対象の理解を深めていきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末課題(レポート)(60%)、平常点[出席・予習・授業中の学習状況](40%)

テキスト(教科書):

ハンドアウトを利用します。

参考書:

授業内で指示します。

担当教員から履修者へのコメント:

辞書(電子辞書も歓迎)を活用してください。予習・復習は必須です。とくに書物史・西洋史・西洋美術・中世文学・宗教史などに関心のある学生の参加を期待しますが、予備知識は必要ありません。積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

質問・相談:

相談・質問などは気軽に授業の前後に声をかけてください。またメールでも質問など随時受け付けます(アドレスは初回授業時に通知します)。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RL) 英米のミュージアム

講座番号: 133

セット履修

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現在、内外の美術館や博物館のほとんどがウェブサイトを作成していて、所蔵品の豊富な画像と共に詳細な時代背景などの専門性の高い情報を提供しています。本授業では、英米の美術館や博物館のウェブサイト上にある多彩な情報を取り上げて、英米におけるミュージアムの成り立ち、美術や歴史、博物館学について理解を深めながら英文読解力の向上を目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績(40%)と平常点(予習、課題など60%)を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布し、また、適宜参考にするウェブサイトを紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

インターネットを通じて海外の情報を手軽に入手できる時代だからこそ、正しい情報の取り扱いと英語読解力が大切です。授業では主にウェブサイト上のテキストの読解を行います。辞書にある意味をただ拾うだけではなく、言葉の背景にある文化や歴史に興味を持って積極的に参加してください。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RL) 美術を読む

講座番号: 134

セット履修

近藤 真彫

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

事典の項目や新聞のレビュー記事、学術書や論文など、美術について書かれた様々なテキストを読んでいきます。内容は主に欧米の美術作品(視覚的イメージ)や文化史に関わるもので、こうした分野の専門用語の理解も含めた英文読解力の向上を目指します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期末試験の成績(40%)と平常点(予習、課題など60%)を総合して評価します。

テキスト(教科書):

授業でプリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

テキストの内容に関わる英作文練習なども行いますが、基本的に英文和訳の授業です。専門性の高いものも取り上げるので、辞書で調べた訳語を並べただけでは理解しづらい場合もあるかもしれませんが、同じ分野のテキスト読解を続けることで確実に読み易くなってきます。美術や歴史に興味のある学生の積極的な参加を期待します。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RWS National Geographic を用いて 21 世紀型スキルを身につける

講座番号: 135

セット履修

佐藤 健

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、National Geographic に掲載された記事をベースにしたテキストを用いて、リーディングを主としつつも総合的な英語スキルを伸ばすことを通して、専門科目を学ぶ上での基礎となる21世紀型スキルを身につけることを目的とする。加えて英文を受動的に理解するだけでなく、批判的な立場から解釈し、自身の意見を表明できる能力と態度を養成する。

授業は基本的に教科書に沿って行われるが、テキストとは異なるタスクを実施する場合もある。更に自身で興味のある記事や教科書の任意のテキストを自ら選択し、その内容と自分の意見を他の学生に発表する活動を実施する予定である。

授業では講義だけでなくペアやグループでの協働活動を毎回実施されるため、能動的な態度での受講が求められる。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業での活動(小テスト・レポート・発表)・授業貢献・期末テスト(語彙・リーディング・要約)のスコアを以下の割合で合算し、60点以上の者に単位を与える。

授業貢献・授業内課題(60%)・期末テスト(40%)

テキスト(教科書):

Reading Explorer Third Edition Level 4 Cengage Learning 2020, ISBN: 978-0-35-711629-6

参考書:

授業時あるいはオンライン学習支援システム(Canvas)上に随時提示する。

担当教員から履修者へのコメント:

授業内での能動的な態度を促すため、他の履修者との協働活動が必ず実施される。またグループやクラスに対してプレゼンテーションを行なう機会がある。授業に関するリソースはCanvasにアップするため、授業時にノートパソコンやタブレットを持参することが望ましい。なお初回授業は教室にて実施する。

質問・相談:

授業時に直接質問するか、メールまたはCanvasを利用すること。メールは satoken74@keio.jp

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RW) 世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 136

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やししながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

Reading Fusion 3

リーディング・フュージョン 3

著者 Andrew E. Bennett 著

ISBN 9784523179047

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RW) 世界と日本のつながりを読み議論しよう

講座番号: 137

セット履修

沢村 静

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

英文を読解できる喜びは、努力なしに味わえません。リーディング・ストラテジーを駆使し英語の語彙を増やししながら、日本に関わる様々なトピックを英語で読み込みましょう。日本国内や世界とその関わり、日本人がどのようにしたら世界の人々とわかり合えるようになるかを論じたエッセイを読み、日本人としての意識や考え方について再考しましょう。また世界で活躍できる国際人を目指し、英語圏で生活する際にも役立つような英語表現の習得を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

成績は出席状況、小テスト、授業態度、また学期末試験で評価します。

テキスト(教科書):

春・秋学期

世界を語る、日本を語る

Searching the Future, Reviewing the Past

著者 David Dykes / 角岡 賢一 著

本体 1,900円(税込2,090円)

ISBN 9784791933938

英語 I 中級 1 単位(春学期)

英語 II 中級 1 単位(秋学期)

現代の短編・中編小説を読む RR

講座番号: 138

セット履修

志子田 祥子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に英語圏の一般読者向けに書かれた短編・中編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読みます。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文読解のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。

春学期はHanif Kureishi の短編 My Son the Fanaticを、秋学期はZadie Smith の中編 Martha, Martha を中心に読んでいきます。登場人物や場面の理解、物語の展開の確認だけでなく、有用語彙や構文、文法項目等の確認も行うことで総合的な英語力の向上を目指しましょう。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

春学期平常点25%、春学期課題・試験25%、秋学期平常点25%、秋学期課題・試験25%の比重で成績評価を行います。各学期の平常点は毎回授業時間での学びや感想をまとめて提出するコメントシート、発言・質問等による授業内活動への積極的な貢献、小テストの成績などで構成されます。3回以上の欠席および遅刻は認めません。

テキスト(教科書):

Kureishi, Hanif. (2019). *My Son the Fanatic: Faber Stories*. Faber & Faber. ISBN-13: 978-0571356157

参考書:

Simpson, Paul. (2014). *Stylistics: A Resource Book for Students 2nd ed.* Routledge. ISBN 9780415644976

担当教員から履修者へのコメント:

この授業ではペア/グループ・ワークや少人数でのディスカッションなど共同作業に取り組んでいただく機会がしばしばあります。ワークシート等の授業資料はkeio.jpから配布します。次回授業までの予習箇所について、わからない単語や表現の意味を調べ、自分なりの解釈をした上で授業に臨んでください。コメントシート、小テスト、試験等については次回授業時に講評・フィードバックを行います。

質問・相談:

講義の前後に随時受け付けます。

## 英語 I 中級 1 単位(春学期)

## 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RR) 日本通による日本人論を読む

講座番号: 139

セット履修

高橋 宣也

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

宮沢賢治の研究と紹介でも知られる日本通の筆者が、日本での生活を通して感じた違和感や偏見などについて綴りながら、日本人が持つ美質をも明らかにしていきます。明快ながらウィットにとんだ英文をじっくりと読むことで、筆者の姿勢を敏感に感じ取ることを目指します。章ごとについている問題も扱います。

授業の計画: keio. jp の講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

- ・試験の結果による評価 (年2回の学期末試験)
- ・平常点: 出席状況及び授業時の成果による評価

## テキスト(教科書):

Roger Pulvers, *Delighting in Cultures: A Vision of Japan's Future* 『世界の日本人と日本人の中の世界』(金星堂、2009年)

## 担当教員から履修者へのコメント:

細かいニュアンスもおろそかにせずに丹念に読んでいきますので、毎回の十分な予習が必要です。授業計画は目安で、実際の状況によって変わります。

## 英語 I 中級 1 単位(春学期)

## 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RR) 多様な英文の速読

講座番号: 140

セット履修

高橋 宣也

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

テキストは、新聞のコラムやエッセイ、日記、短編小説など、様々なタイプの英語で書かれた文章です。授業時に配布されるテキストの速読を行い、内容が的確に把握されているかを確認します。また章ごとに適宜英語のレポートを提出し、英作文の練習も行います。

授業の計画: keio. jp の講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

- ・試験の結果による評価 (年2回の学期末試験)
- ・レポート (章ごとに随時課する)
- ・平常点: 出席状況及び授業時の成果による評価

## テキスト(教科書):

Simon Greenall and Diana Pye, *Cambridge Skills for Fluency: Reading 3* (Cambridge University Press) [コピーを配布します]

## 担当教員から履修者へのコメント:

予習は必要としませんが、授業時の集中した取り組みが必須です。授業計画は目安で、実際の状況によって変わります。

## 英語 I 中級 1 単位(春学期)

## 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RR 西洋美術における風景に関する論考を読解する

講座番号: 141

セット履修

高橋 三和子

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業では、Malcolm Andrewsによる西洋美術における風景に関する著作*Landscape and Western Art*を読解します。風景の概念の考察に始まり、ルネサンス絵画における発展、トポグラフィとの関係などあらゆる角度から分析した論考を読み、英語読解力向上を目指します。トピックや論の展開の把握、注の読み方などを含む学術書読解の基礎的な技術を養いつつ西洋美術についての知識を深めます。

授業の計画: keio. jp の講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

平常点 (小テスト・出席) 及び学期末の試験から総合的に評価します。

## テキスト(教科書):

Malcolm Andrews, *Landscape and Western Art*, Oxford History of Art (Oxford: Oxford University Press, 1999) ISBN: 978-0-19-284233-6

## 担当教員から履修者へのコメント:

学術的な著作を読解するにあたり、入念な予習が必要となります。英語の語彙力の強化、文法・構成の理解を含む読解力向上に対する

意欲に加え、扱うトピックの背景的知識を理解、吸収する姿勢を期待します。

## 質問・相談:

「Canvas LMS」から質問を受け付けます。

## 英語 I 中級 1 単位(春学期)

## 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

RR イギリス人写真家による明治日本旅行記を読む

講座番号: 142

セット履修

高橋 三和子

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

明治時代の日本を訪れたイギリス人写真家Herbert G. Pontingによる写真入り旅行記*In Lotus-land Japan*を読みます。旅行記ならではの空間描写を含む生き生きとした文体を堪能しつつ英語の読解力向上を目指します。長いセンテンスの英文訳出のスキルを高めることを目標とします。豊かな表現力によるエピソードや情景の記述を明治期の美しい写真とともに読み、英語による日本及び日本文化の描かれ方を学びます。

授業の計画: keio. jp の講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

平常点 (小テスト・出席) 及び学期末の試験から総合的に評価します。

## テキスト(教科書):

プリント教材

## 担当教員から履修者へのコメント:

写真家である筆者の文章は、写真あるいは絵画を思わせる詳細な風景描写を数多く含みます。このため、重文、複文を用いた難解な長文が度々現れます。毎回の入念な予習は欠かせません。意欲的に読解に取り組む学生を歓迎します。

## 質問・相談:

「Canvas LMS」のメッセージから質問を受け付けます。

## 英語 I 中級 1 単位(春学期)

## 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RR) 第2言語習得理論を原書で読む

講座番号: 143

セット履修

田辺 寛

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。第2言語習得というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズムについての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続し、精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるための考察を通して自然に英語読解力を高めようとするものです。

授業の計画: keio. jp の講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

レポート、試験をもとに成績が判定されます。

## テキスト(教科書):

Oxford, Rebecca L. (1990). *The Language Learning Strategies: What Every Teacher Should Know*. Longman.

Ellis, R. (1985). *Understanding Second Language Acquisition*. Oxford University Press.

Krashen, Stephen, and T. Terrell. (1983). *The Natural Approach*. Prentice Hall.

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で示します。テキストの変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

## 参考書:

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

## 担当教員から履修者へのコメント:

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかり読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、

レベルに応じた形で英語でのディスカッション、プレゼンテーションをしていただきます。

**質問・相談:**

tanabe@77.netyou.jpから教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR 教育言語学の文献を原書で読む

講座番号: 144

セット履修

田辺 寛

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

皆さんにとって外国語の習得は過去、現在そしてこれからの自己実現に深く関わっていると思います。教育言語学というテーマで、著名な応用言語学者による外国語の習得のメカニズム、習得法についての様々な英語の文献を読みます。この授業はContent Based Approachという指導哲学に基づいて行います。授業で扱う題材に対する興味とそこから生まれる学習動機によって学習を継続することが理想です。

精読、多読を併用しながら、読んだ内容について理解を深めるための考察しながら自然に英語読解力を高めようとするものです。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

レポートと試験をもとに成績が判定されます。

**テキスト(教科書):**

1. Krashen, Stephen D., and Terrell, T. (1988). *The Natural Approach*. Prentice Hall. ISBN:0-13-609934-3
2. Krashen, Stephen D. (2004). *The Power of Reading*. Heinemann. ISBN: 1-59158-169-9

他、応用言語学、社会言語学、心理学、行動学等の文献。授業で指示します。変更があり得るので事前に準備する必要はありません。

**参考書:**

Wallace, J.M. (1980). *Study Skills in English*. Cambridge University Press.

**担当教員から履修者へのコメント:**

英語の学び方、教え方についてのテーマを扱い、学んだことを実践的に活用します。専門分野に直結する文献をしっかりと読んで、議論することを期待する人に向けたクラスです。将来外国語の教員を目指す人、言語習得に興味のある人にお勧めしたいテーマです。意欲、レベルに応じた形で英語での課題作成、プレゼンテーション原稿の作成等をしていただきます。提出された課題へのコメントアドバイスを授業でいたします。

**質問・相談:**

tanabe@77.netyou.jp から教員に受講についての質問ができます。遠慮なくご相談ください。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR *American History* を読む

講座番号: 145

セット履修

辻 秀雄

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

読み応えのある英語で書かれたアメリカ史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・ 学術文章レベルの英語を理解する。
- ・ アメリカ史の基礎事項を学ぶ。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点 (出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 40%

試験およびレポートの結果による評価 60%

**テキスト(教科書):**

Paul S. Boyer, *American History: A Very Short Introduction* (Oxford UP)  
ISBN: 9780195389142

生協に発注してあります。

**参考書:**

授業内で紹介

**担当教員から履修者へのコメント:**

春学期第1回授業は対面の予定です。

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。半期5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

**質問・相談:**

講義の前後に随時受け付けます。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

(RR) Basic Reading Strategies

講座番号: 146

セット履修

津田 敦子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

英語を一語一語日本語に置き換えるのではなく、英文を読んで自分が必要としている情報を得る、または内容を正しく理解するために必要な基本的なストラテジーの習得、実践的な英文読解能力の向上を主たる目的とする。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業内容の理解度、課題の提出、小テスト、Reviewテストの結果などを見て総合的に判断する。

**テキスト(教科書):**

不要

**担当教員から履修者へのコメント:**

毎回の授業内容を必ず復習し、与えられる課題一つ一つに真摯に取り組むことが大切です。また、わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして解決するようにしてください。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

(RWL) 映像化された短編小説から学ぶ英語

講座番号: 147

セット履修

徳永 聡子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、毎回のクラスで一定量の英語の文章を読み、総合的な読解力のさらなる強化を目指します。テキストの内容についてクラスの仲間とディスカッションをしたり、映像を視聴して原書と比較分析を行い、英語のパラグラフ・ライティングや口頭発表にも挑戦する予定です。

春学期はイギリスの作家Roald Dahlの作品を取り上げます。『チャーリーとチョコレート工場』などの作品で有名ですが、短編小説には独特のユーモアや風刺がきいた作品が多いのが特徴です。授業では、TVドラマ化された'Lamb to the Slaughter', 'William Mary'などを取り上げる予定です。秋学期には、映画化された短編小説を読みます。'The Wisdom of Eve' (映画は'All about Eve'), Roddy Doyleの'New Boy', Paul Austerの'Auggie Wren's Christmas Story' ('Smoke'として映画化)などを扱う予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点 (出席、授業や課題への取り組み)、テスト、口頭発表、レポートの総合点で評価します。

**テキスト(教科書):**

【春学期】 Roald Dahl, *Dahl's Best Short Stories* (Nan'undo, 1981) / ISBN 9784523009221 (生協で購入してください)。追加でプリントをCanvas上で配布します。

【秋学期】 プリントをCanvas上で配布します。

**参考書:**

随時紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

・ 予習をして授業に臨むこと。また特別な事情を除き、発表担当日の欠席は原則として認めません。

・特別な理由なく、各学期に4回以上欠席すると、単位の取得が難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

**質問・相談:**

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

(RR) Adrian Tomine の Graphic Novel を読む

講座番号: 148

セット履修

富塚 亮平

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この演習では、現代アメリカのグラフィック・ノベル(コミックス)作品を読み、その内容について議論してもらいます。具体的には、前期はアジア系アメリカ人コミック作家 Adrian Tomine の長篇 Shortcomings (2007)、短篇集 Summer Blonde(2003)を、後期は彼の最新長篇 The Loneliness of The Long-Distance Cartoonist (2020)を読みます。

授業では毎週英語の文献(グラフィック・ノベル、レビュー、インタビューetc)を読み、それに基づいた議論(演習)を行います。また、必要に応じて授業内で扱った作品と関連する映画や小説など他ジャンルの作品も教材として扱います。履修人数によって変更となる可能性もありますが、基本的に各セメスターで一人2回の口頭発表と期末レポートの提出をしてもらいます。

到達目標は下記の通りです。

グラフィック・ノベルやレビューの内容を原文で正確に理解することで英語リーディングの基礎力を高めます。また、人種・性・階級に関する議論を始めとする現代の社会・政治を巡る理論の基礎的な知識を修得することで、私たちの生きる社会および文化作品を批判的に分析する方法を獲得します。加えて、授業内でディスカッションを行うことで、自らの意見を正確に他者に伝える学問的なコミュニケーション能力を高めます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業への貢献度(ディスカッション等) 30%

プレゼンテーション 20%

期末レポート 50% (25x2)

**テキスト(教科書):**

前期

Adrian Tomine, Shortcomings. Faber & Faber, 2007. ←購入してください。

--- Summer Blonde Drawn&Quarterly, 2003. ←生協には依頼済みですが、電子版もあり。また、配布も検討します。詳しくは初回で。

後期

Adrian Tomine, The Loneliness of The Long-Distance Cartoonist. Faber & Faber, 2020. ←購入してください。

購入する資料については、紙、電子いずれでも使用しやすい方で結構です。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業内発表については当日口頭でコメントを、レポートに対しては個別にテキスト形式でフィードバックを行います。

また各学期最終回にはレポートのテーマについて簡単に発表してもらおう機会を設ける予定です。そこでも参照すべき文献や議論の方向性について口頭でコメントを行います。

授業形式は現状では対面を予定していますが、感染状況次第では Zoom を使用した双方向授業となる可能性もあります。

予習・復習は、授業範囲の英文を読むことと議論の振り返りでそれぞれ二時間ほどを予定してください。

可能な限り誰でも議論に参加でき、思ったことを自由に発言できる空間を作りたいと望んでいます。

私も最善を尽くしますので、怖がらずに積極的に発言してください。ご協力よろしくお願ひします。

**質問・相談:**

質問は授業終了後およびCanvasやメール経由でも受け付けます。

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RW アカデミック・イングリッシュを読む

講座番号: 149

セット履修

中村 哲子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、さまざまなタイプのアカデミック・イングリッシュについて、論理構成に注目しながら批判的に読みながら、語彙を増やしたり、文脈を的確に理解したりする技能を高めます。理解を深めるために、ライティング活動も組み入れます。

英文の内容は、個人レベルの話題から、社会問題や科学的なトピック、また、望ましいスピーチのあり方といった話題にわたります。英文の内容をパラグラフ毎に的確に掴みながら読んだり、必要に応じて正確な読みを焦点を合わせたりします。内容を英語で要約するといった活動も展開します。教科書にはオンライン教材が含まれていますので、問題に取り組んだり、音読練習などもできます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業課題(40%)、ライティング課題(25%)、確認小テスト(35%)の合計点にて評価する。

**テキスト(教科書):**

Longman Academic Reading Series 2: Reading Skills for College, by Elizabeth Bottcher, Pearson, 2017, ISBN: 9780134663388

**参考書:**

各種辞書(授業にて指導する)

**担当教員から履修者へのコメント:**

出席重視。授業では授業開始時に出席している学生を出席者とみなす。各授業で明確にする課題等の準備学習について、辞書を用いて60分以上の時間をかけて丁寧に行い、指示された締切日時までに提出すること。課題等については随時授業内あるいは教育支援システムCANVASを活用してフィードバックする。授業の進度は、状況に応じて前後することがある。なお、本科目は、卒業認定・学位授与に関連する科目である。

**質問・相談:**

e-mail を利用する。

**英語 I 中級 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

(RW) 書物の危機と保全の歴史を読む

講座番号: 150

セット履修

新居 達也

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、Richard Ovenden, *Burning the Books: A History of Knowledge under Attack* (2020)を講読します。長年にわたり英国の名門図書館で司書としての経験を積んだ著者によって書かれた本書は、歴史上、いかに知識の源泉である書物が破壊の危機に晒され、また、そのような蛮行に対する抵抗としていかに書物の保全が試みられてきたかをいくつかのエピソードから紐解きます。タイムリーかつ犀利に富む内容の本書を通して、英語読解力を鍛えるとともに、人文学の根幹とも言える書物と情報の歴史を学びます。加えて、本書に関連した題材のショートエッセイを書くことで、英語で自身の考えを表現する能力の向上も目指します。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業参加度: 30%

ショートエッセイ: 20%

期末試験: 50%

**テキスト(教科書):**

Richard Ovenden, *Burning the Books: A History of Knowledge under Attack* (London: Murray, 2020)

講読箇所はkeio.jp経由で配布しますので、各自でダウンロードしてください。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR サスペンス小説講読

講座番号: 151

セット履修

新名 ますみ

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

サスペンス小説を読みながら、英語の豊かな表現を学びます。優れた作品には、緊迫感あふれる筋書きに加え、人物の心理描写や巧まざるユーモアが重要な要素となっていることが多いものです。それを楽しみながら読むことで、一語一語をおろそかにせず行間を読む力を習得します。内容も「万引き癖のある主婦が脅迫された。金もない彼女が狙われた理由とは……？」など、退屈しないで読んでいける筋書きとなっています。

授業は、①和訳を事前に提出した上で、②和訳、文法、内容理解については、授業中に意見を出し合いながら進め、③次回の授業で(又は次回の授業までに)復習のための小テストを行う、という形で進めていきます。和訳は採点した上でフィードバックし、優秀なものについては授業内で紹介するので、時間をかけて取り組むことをお勧めします。なお、より豊かに英文を理解するために、テキストの朗読も適宜取り上げる予定です。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

和訳(事前提出): 30%

授業中のパフォーマンス(発言・朗読など): 40%

試験(復習テストを含む): 30%

**テキスト(教科書):**

プリント(授業時に配布、又はCANVAS上にて公開します)

**参考書:**

授業中に適宜紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

- ・この授業は全回において対面授業を予定しています。
- ・テキストの和訳を入念な準備の上で全員に提出してもらうので、綿密な英文和訳や精読に興味のある学生を歓迎します。単なる逐語訳以上の和訳のために予習は2時間程度、復習は毎回の小テストのために1時間程度は行いましょう。
- ・フィードバックについては、試験の解説は授業内で行い、結果や成績はCANVASから個別にお知らせします。

**質問・相談:**

CANVASのメールシステムを利用するか、或いは下記のメールアドレスに連絡してください。

m-niina@keio.jp

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR カズオ・イングロ作『わたしを離さないで』を読む

講座番号: 152

セット履修

沼田 香穂里

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

このクラスの目的はカズオ・イングロの小説『わたしを離さないで』を読むことを通じ、英語の読解力を高めることにあります。カズオ・イングロは2017年にノーベル文学賞を受賞しました。本作品はSF小説という特殊な設定を扱いながら、「生きる」という普遍的なテーマについて深く考える機会を与えてくれます。人生に意味を与えるものは無垢なのか、それとも真実、愛、創作、記憶なのか?物語の表面を理解するだけでなく、そこに隠された意味も読み取るため、自分で考えながら読むことが必要になります。

春学期はまだ英語で小説を読むことに慣れていない学生のために、詳細な文法・語の説明をしながら小説冒頭部をしっかりと読んでいきます。秋学期は学生の側から大事だと思った箇所を指摘してもらい、意見を求めながら理解を深め、より長い文章を読めるようになる練習をします。一年を通して、大学で必要とされる英語の読解力の育成を目指します。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

評価は、学期末試験の成績に出席と平常点を加味して決定します。各学期とも4回以上欠席した学生は学期末試験を受験する資格を失います。

**テキスト(教科書):**Ishiguro, Kazuo (2011). *Never Let Me Go*. Faber and Faber. ISBN: 9780571335770**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は対面で実施します。授業に積極的に参加し、自発的に意見を述べる学生を歓迎します。

**質問・相談:**

講義の前後に随時受け付けます。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR 映画の中の英米詩

講座番号: 153

セット履修

沼田 香穂里

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では映画で引用された詩と詩人について学ぶことで、英語の読解力を高めることを目的としています。テキストに取り上げられているのは、『ローマの休日』のような古典映画から『フォー・ウェディング』のような現代のラブコメまで、詩人もシェイクスピアから20世紀のオーデンまで幅広いラインナップです。授業では実際に詩が引用されている場面の映像を見ながら、映画のセリフ、文化背景、物語を説明する表現などを学びます。詩を読むのは慣れないというちは難しいですが、繰り返し学ぶことで大学での学びに必要な英語力を育てていきたいと思っています。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

評価は、学期末試験の成績に出席と平常点を加味して決定します。各学期とも4回以上欠席した学生は学期末試験を受験する資格を失います。

**テキスト(教科書):**Zitowitz, Philip. (2005). *The Poetry of Film*. Kinseido. ISBN 4-7647-0977-5**担当教員から履修者へのコメント:**

授業は対面で実施します。授業に積極的に参加し、自発的に意見を述べる学生を歓迎します。

**質問・相談:**

講義の前後に随時受け付けます。

---

**英語 I 中級 1 単位(春学期)****英語 II 中級 1 単位(秋学期)**

RR 現代英語でアーサー王物語を読む

講座番号: 154

セット履修

辺見 葉子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

春学期は、中英語のアーサー王ロマンスの傑作*Sir Gawain and the Green Knight* (『ガウェイン卿と緑の騎士』)を現代英語散文訳で読みます。

秋学期には、春学期に読み残した部分を読み終え、それを踏まえて*Sir Gawain and the Green Knight*に関する論考を読みます。

専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点[予習・授業中の学習状況](50%)、期末試験(50%)

**テキスト(教科書):**

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

**参考書:**

授業中に適宜紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用のみ限定されます。

**質問・相談:**

随時受け付けます。

## 英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

## 英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

【RW】知的財産をめぐる諸問題について学ぶ

講座番号: 155

セット履修

堀 美里

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Siva Vaidhyanathan著、*Intellectual Property: a Very Short Introduction*を中心に読みます。知的財産の保護という考えがいつ表れたのか、現代における問題は何か、という初歩的な疑問から出発し、この本がかかげている3つの目的---1.あらゆる種類の知的財産を知り、説明し、その権利を守るべく正当性をどのように主張するのかを知る、2.知的財産をめぐる世界で起きている問題について議論し、3.その先の問題に切り込むべくどのような資料に当たればいいのか、を中心として、知的財産について包括的に学ぶことを目標とします。

上級英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読めることを目標とします。英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、学生自身で決めたテーマに関して、学期に一度エッセイ(レポート)を書きます。

授業中に新たに学生のみなさんより出たアイデアによって臨機応変にテキストや資料を提供していきます。

※この授業は基本的に全回対面授業となります。

※オンライン授業となった場合には、オンデマンド方式(録画された動画を視聴する方式)で行います。keio.jp内のBoxに、毎回の授業の録画がアップロードされます。

※大学の方針に従い、途中から授業形式が変わる可能性があります。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

平常点30%(出席コメント10%・予習への取り組み担当制20%)、エッセイ30%、期末試験40%。

## テキスト(教科書):

Intellectual Property: a Very Short Introduction  
by Siva Vaidhyanathan

Oxford: Oxford University Press, 2017.

上記の書籍およびほかに必要な資料は教員がkeio.jpにアップロードします。

自身で購入しても構いません。

## 参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

## 担当教員から履修者へのコメント:

著作や絵画などを含むあらゆる知的財産の保護や、文化的継承に関心がある方を歓迎します。

英語をはじめ読書が基本的に好きだ、あるいはものを読む体力がある、そういった力をつけたいという学生の参加を歓迎します。

辞書を必ず使用してください(どのような媒体でも構いませんが、辞書としてすぐに機能を果たせるものを使用のこと)。

## 質問・相談:

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

## 英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

## 英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

【RW】キリスト教美術について学ぶ

講座番号: 156

セット履修

堀 美里

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、Beth Williamson著、*Christian Art: A Very Short Introduction*を読みます。キリスト教美術(芸術作品)についての知識を深めると共に、聖書の物語を読み、聖書の物語における重要な人物(聖母マリアやその他の聖人など)、教会建築や中世の書物、現代のキリスト教美術について、この著書の構成にしたがって理解を深めていきます。そして著者が書いているように、キリスト教美術は

西洋の歴史、政治、神学や哲学などを多面的にとらえる第一歩になります。

アカデミックな英語を正確に読めること、自ら興味を持って調べながら英文を読めることを目標とします。学術的な英語を読む力を養い、今後も自ら英語文献にアクセスできるよう訓練します。また、前期・後期共に、ロンドンナショナルギャラリーなどの映像解説を視聴して、リスニングにも挑戦します。学生自身が選んだ芸術作品とその物語に関して、エッセイ(レポート)を書く課題を設定しています。

※この授業は基本的に全回対面授業となります。

※オンライン授業となった場合には、オンデマンド方式(録画された動画を視聴する方式)で行います。keio.jp内のBoxに、毎回の授業の録画がアップロードされます。

※大学の方針に従い、途中から授業形式が変わる可能性があります。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

平常点30%(出席コメント10%・予習への取り組み担当制20%)、エッセイ30%、期末試験40%。

## テキスト(教科書):

Beth Williamson, *Christian Art: A Very Short Introduction*. Oxford: Oxford University Press, 2004.

自身で購入するか、keio.jpにテキストをアップロードしますので、各自でダウンロードしてください。慶應義塾図書館のオンラインデータベースでもデジタル版が利用できます。

## 参考書:

指定のテキスト以外に必要な資料がある場合は、授業中に適宜配布します。

## 担当教員から履修者へのコメント:

西洋の文化、歴史、美術、聖書に関して興味関心があり、英語とその内容を丁寧に理解して取り組みたいという方を歓迎します。授業には必ず辞書(いかなる媒体も可)を持参して臨んでください。

## 質問・相談:

授業前・授業中・授業後、メールでも受け付けます。メールアドレスは初回授業で通知します。

## 英語Ⅰ中級 1単位(春学期)

## 英語Ⅱ中級 1単位(秋学期)

(RL)アメリカ映画のマイノリティ表象を読み解く一二分法を超えて

講座番号: 157

セット履修

溝部 敦子

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

現代社会の課題である人種・階級・ジェンダー・セクシュアリティ・障がいを切り口にアメリカ映画を論じた *America on Film (2009 Second Edition)* から 'Ability' を視点に据えた Part VI を読みます。主な目標は2つです。

まず、精読を通して論理的な文章に慣れるとともに、文の構造や修飾関係をしっかりと把握した上で英文を正確に読み取る力を養うことを目指します。テキストは全部で15の章から成っており、春学期に前半の8章を、秋学期に残りを読みます。ただし、全ての章を精読するのではなく、各学期とも2章ほどは速読する予定で、扱わない章もあります。

2つめの目標は、アメリカ映画におけるマイノリティ表象を分析しつつ、人種やジェンダー、障がい等の問題についての理解を深めるとともに、レポート課題などを通して日本社会における差別についても考えることです。

授業は訳読が中心となりますが、読解演習を行う中で意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。また、読んだ内容を実際に確認し、レポート課題などの参考とするため、映画鑑賞の時間を設ける予定です。さらに、教科書以外の教材を使い、リスニング演習も適宜行います。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

## 成績評価方法:

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト(原則として、読解演習を行う3つの章を対象とした復習テスト)を実施する予定です。評

価はその結果と平常点（出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など）を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合は、授業で扱わなかった章などを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題（期末テストを含む）の未提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

#### テキスト(教科書):

Harry M. Benshoff & Sean Griffin, *Ability and American Film* (2013 英宝社) ISBN:978-4-269-11007-6

#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面授業とオンライン授業（オンデマンド型：各学期6回）を組み合わせる形で行います。初回授業は対面です。新型コロナウイルスに関わる個々の事情で対面授業に参加できない（または、参加を見合わせる）場合には、オンラインでの課題の提出などで代替します。いずれの場合も必ず自力で取り組み、精読した章は、演習後配布される〈試訳〉と照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、オンラインで提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

#### 質問・相談:

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール（lancaster@keio.jp）でも対応します。

---

#### 英語 I 中級 1 単位(春学期)

#### 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RL) UK ロックを通して見るイギリス現代史

講座番号：158

セット履修

溝部 敦子

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

若者文化の勃興は第2次世界大戦後多くの国で見られた現象ですが、イギリスでは、その栄枯盛衰は時代と密接に結びついており、特にロックの歴史にはその時々のイギリス社会の状況や人々の心理が色濃く反映されています。本授業では、50年代に始まるUKロックの歴史を現代までたどったテキストを使い、イギリスにおけるそうした社会と文化の関係を見ていきます。主な目標は2つです。

1つめの目標は、UKロックの歴史を辿ることでイギリスに対する理解を深めるとともに、大衆文化を楽しみの対象としてだけでなく社会分析の手段としてとらえ、社会と文化の関係を歴史的にとらえることが出来るようになる＝社会史の取り組みを経験することです。

次に、テキストの精読を通して語彙力と読解力の強化を目指します。特に、単語の意味をつないで適当に文意を類推するのではなく、文の構造を正確に把握した上で内容を理解する力を養うことが目標です。勘頼みの読解は卒業し、応用力の基礎をしっかりと固めましょう。

授業では以上の2つの目標を念頭に、春、秋学期とも対象となるユニットのうち4ユニットほどを精読し、残りは速読する予定です。訳読が中心となりますが、一文一文丁寧にというよりは、意味や構文の取りにくい文に特に注意を払いながら読んでいきたいと思えます。また、日本との比較も含め、時代ごとのイギリス社会を特徴づける側面についていくつか取り上げ、レポート課題として取り組んでもらう予定です。さらに、教科書以外の教材を使ったリスニング演習も適宜行います。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

春・秋学期とも期末に教室で授業内テスト（原則として読解演習を行ったユニットを対象とした復習テスト）を実施する予定です。評価はその結果と平常点（出欠状況、授業態度、課題の提出状況とその出来具合など）を総合して行います。また、状況の変化により授業内テストが実施できなくなった場合は、授業で扱わなかったユニットなどを対象に別途課題を課すことで対応します。その場合、平常点による評価となります。いずれの場合も、欠席もしくは出席に代わる課題（期末テストを含む）の未提出が春・秋を通して9回以上となる場合は、成績評価の対象となる資格を失いますので注意してください。

#### テキスト(教科書):

Paul Hullah & 寺西雅之, *Rock UK - A Cultural History of Popular Music in Britain* (2012 CENGAGE Learning) ISBN:978-4-86312-204-8 C3082

#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業は対面授業とオンライン授業（オンデマンド型：各学期約6回）を組み合わせる形で行います。初回授業は対面です。新型コロナウイルスに関わる個々の事情で対面授業に参加できない（または、参加を見合わせる）場合は、オンラインでの課題の提出などで代替します。いずれの場合も必ず自力で取り組み、演習後〈試訳〉が配布されたユニットについては、これと照らし合わせてきちんと英文を理解しているかどうか確認しましょう。主体的かつ地道な努力なしには本当の力はつきません。なお、オンライン授業で提出された読解の課題については、原則として個々に返却します。

#### 質問・相談:

教室での授業の前後に随時受け付けるほか、オンラインでの課題の提出時やメール（lancaster@keio.jp）でも対応します。

---

#### 英語 I 中級 1 単位(春学期)

#### 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RWS) Social Issues in Everyday Life

講座番号：159

セット履修

和氣 直子

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

日常生活の中で私たちが直面する身近な法制度、雇用、ジェンダー等に関する事例について読みながら、英語の発音とリズム、語彙力、読解力、英語で考える力、英語で書く力を養っていきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, class performance including presentations, discussions and debates, writing assignments, and possibly tests depending on Covid situations.

#### テキスト(教科書):

Caplan, N.A. & Douglas, S.R. (2020). *Q Skills for Success, Level 5: Reading and Writing* (3rd ed.). Split A Pack. Oxford University Press. 978-0194904087.

#### 参考書:

References will be provided as needed.

#### 担当教員から履修者へのコメント:

More than half of the sessions will be held in person, with the other sessions offered online (mostly an on-demand format). However, in-person sessions may be switched to online (on-demand or live) in the event the Covid outbreak worsens. The first session in April will meet in person.

#### 質問・相談:

Students are welcome to ask questions during and after each session.

---

#### 英語 I 中級 1 単位(春学期)

#### 英語 II 中級 1 単位(秋学期)

(RWS) Law and English in Modern Society

講座番号：160

セット履修

和氣 直子

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this course is for students to become more confident in reading English materials and in thinking and expressing their opinions in English. Throughout the course, students will read texts on topics regarding American culture, the legal system, and related social issues, as law is deeply rooted in American society and culture. Japanese society will also be considered. During the semesters, students will experience doing research, giving presentations, writing and participating in debates.

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

Evaluation will be based on attendance, class performance, presentations, debates, writing assignments, and possibly tests depending on Covid situations.

#### テキスト(教科書):

『リーダーズ フォーラム 3ーActive English』 Jim Knudsen著 南雲堂 2017年 ISBN: 978-4523178385.

#### 参考書:

References will be provided as needed in class.

**担当教員から履修者へのコメント:**

More than half of the sessions are held in person. The other sessions are conducted online mostly in an on-demand format. However, in-person sessions may be switched to online (on-demand or live) sessions depending on the Covid outbreak. The first session in April meets in the classroom.

**質問・相談:**

Students are welcome to ask questions during and after each session.

## 【中級発展】

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)****英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RS Introduction to Art History

講座番号: 161

セット履修

市川 佳世子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

In this course, we will be reading a short introduction to art history written by Dana Arnold. The aim of this course is to provide a comprehensive introduction to the subject and to help improve English reading and communication skills. This will be achieved through regular reading exercises, discussions based on object observations, and student presentations. Based on the knowledge and perspective you will have gained through reading the textbook, you will be expected to do research and to present on an art object of your choice towards the end of the academic year. Whether you will be majoring in art history or not, it will be a great opportunity to learn and talk about art and culture.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Evaluation based on class participation (20%); presentation (30 %); and exams (50%).

**テキスト(教科書):**

Arnold, Dana. (2020). Art History: A Very Short Introduction (Very Short Introductions), Second Edition. Oxford University Press. ISBN: 9780198831808

Please purchase the paperback version at Keio Co-op Hiyoshi store.

**参考書:**

To be announced in class.

**担当教員から履修者へのコメント:**

1. This course will be taught mainly in English and the participants are encouraged to interact in English during class. We may also interact in Japanese if it facilitates the learning process. You will be required to deliver your presentations in English.

2. It is essential that all participants do the preparatory reading every week and contribute to the class by actively offering their views and opinions. You are expected to spend at least 90 minutes per week for required readings, assignments, presentation preparations, and other learning activities.

3. You will receive feedback from the instructor and your peers after presentations. Exam papers will be marked and returned to each student and feedback will be provided in class.

4. The entire course will be taught in person from the first week. Any changes will be communicated via LMS. Regular attendance is expected. If you are unable to attend classes for inevitable reasons, please inform the instructor before class (or immediately following the absence).

**質問・相談:**

Please come and see me before or after class. You can also email me (k.ichikawa@keio.jp) if necessary.

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)****英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RL 随筆を読む

講座番号: 162

セット履修

宇沢 美子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

英語の理解力と分析力を磨くことに重点を置いた、中上級レベルのリーディング・コースです。G. K. Chestertonの "On Running after One's

Hat"などの名作随筆から、Amy Tan, Maxine Hong Kingston, Richard Rodriguezなどの現代エッセイまで、様々な評論文を読み解くコースです。各文章に登場する修辞、論理、議論の提示方法などを分析しながら、それぞれに独特の妙味を味わいたい。春学期は短い物語調の随筆を数本、秋学期は長くて複雑な批評的文章をさらに探求していく予定です。出席(全授業回数の三分の二以上)は必須で、毎週の課題を通じて出席確認をします。動画等の視聴を課題に出すことでリスニング能力やノートテキングの練習も加える予定です。授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

試験による評価 (50 %)

平常点: 出席状況および課題等による評価 (50 %)

により総合的に評価します。

**テキスト(教科書):**

毎週読むエッセイおよび授業資料(課題)はCanvas LMSを通して配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

課題はCanvas LMS を通してテキストと共に毎週配布されます。

また、毎週提出される課題はクラス全体に対して、コメント付きで公開される可能性があります。

第1週は対面で授業を行います。COVID 19の状況が悪化した場合はオンラインに切り替え、その旨Canvas LMSにて通知します。

**質問・相談:**

uzawa@keio.jp で随時受け付けます。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)****英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RR 肖像画と動物画

講座番号: 163

セット履修

江崎 麻里

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

本科は、精読と多読を通し、専門分野の英語文献を読みこなす力を培います。

春学期は、イギリスの肖像画に着目します。世界でも珍しく、肖像画だけを集めた美術館ナショナル・ポートレート・ギャラリーを有するイギリス。肖像画を通して時代の精神を探ります。

秋学期は、芸術に現れる動物に着目します。芸術作品を鑑賞しながら、西欧文明において、動物と人間の関係がどんな変遷をたどったのかを考察します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

日常点(出席点・課題・発言) 60%

春学期・秋学期試験 40%

**テキスト(教科書):**

1. Clair Hughes著『イギリスの肖像画』英宝社 2012年 ISBN: 978-4-269-11015-1

2. Kenneth Clark著『芸術に現れた動物と人間』英宝社 2017年 ISBN: 978-4-269-11015-9

**参考書:**

授業中に随時、紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

遅刻厳禁。辞書必携。

地道に積み重ねていくことが好きな人に適した授業です。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)****英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RWS 距離について考える

講座番号: 164

セット履修

加藤 有佳織

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

「距離」に関するさまざまな英文を教材に、読み解く力と情報や考えを伝える力を養います。授業では、読解クイズやディスカッションをとおして内容理解を深めます。また、課題文に関連する発表やペーパーに取り組み、調べたり考えたりしたことを整理して伝える練習をします。履修者のみなさんには、継続的に課題に取り組むこと、授業へ積極的に参加すること、関連事項を調べ批評的に考えることがとめられます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

読解クイズ (20%)、ディスカッション (20%)、発表 (30%)、作文・期末レポート (30%) による総合評価とします。それぞれ60%以上を満たすことが前提です。

テキスト(教科書):

CANVAS上で資料を配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業は基本的に対面で行います。第1回は教室へお越しください。課題内容により、数回オンライン・オンデマンドで実施します。

質問・相談:

随時メールでお受けします: ykrkt@flet.keio.ac.jp

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

RW ディズニー映画の映し出す社会

講座番号: 165

セット履修

倉科 真季

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ディズニーアニメを社会的・文化的な観点から読み解くことを目的に書かれた映画論をテキストとします。文章の精読を通して英語のリーディング能力の向上を目指すと共に、文学作品や映画をアカデミックな視点から分析・批評するとはどのようなことなのか、論文の読解を通して学んでいけたらと考えています。

扱う映画を適宜紹介したり、グループワークを行ったりしながら内容理解を深めた上で、映画やテキストに対する学生各々の意見や見解をクラスで共有できるように授業を進めていくつもりです。

加えて、年度末に提出するディズニー映画をテーマにしたライティング課題の作成に向けて、パラグラフやエッセイの書き方についても授業内で学びます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(教科書問題への解答・グループワークへの参加): 35% / ライティング課題: 30% / 期末試験: 35%

テキスト(教科書):

國友万裕、安田優編注『ディズニーアニメと多様化する社会』*Disney Films and Secret Messages: Race, Ethnicity, Gender and Sexuality* (英宝社、2019年) ISBN: 978-4-269-11008-3

担当教員から履修者へのコメント:

毎回授業までにきちんと指定された範囲の精読を行って授業に臨むようにしましょう。

個々の文章の意味を理解するだけではなく、文章の前後関係を把握し行間を読むレベルにまで到達できるように心がけて授業を行うので、履修者の皆さんもそのつもりで学習を進めてもらえたらと思います。

授業では、グループワークやそれに対するフィードバックをその場で行いながら本文の内容理解を深めていきます。

質問・相談:

授業内や授業後のほか、初回にお知らせする連絡先にて受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

RR エッセイ集『時の咀嚼』を読む

講座番号: 166

セット履修

小泉 由美子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、ドリス・メイ・レッシング (1919-2013) のエッセイ集『時の咀嚼』(2004年)を読み進めます。レッシングは、ケルマーンシャー(現在のイラン)生まれの小説家(英国国籍)。静謐で深くやさしい彼女の人間描写(時々の猫描写)をゆっくり丁寧に咀嚼しながら、主題および英文構造の精緻な把握と理解を磨いていきます。毎回、5ページ程度の予習(和訳)がもとめられます。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点(予習・出席)、学期末テストの総合点で判断します。

テキスト(教科書):

Doris Lessing, *Time Bites: Views and Reviews* (2004; Harper Perennial, 2006)

質問・相談:

随時受け付けます。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

RL BBC で聴く・見る最新のニュース

講座番号: 167

セット履修

小竹 直

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本講義では、BBCで報じられるニュースを用いて、英語力の向上を目指します。既存のテキストではなく、できる限り直近に報じられたニュースを取り上げ、英語の読解力とリスニング力の向上を目的とします。

授業は、ディクテーション(書き落とし)の課題とスクリプトを利用した読解を組み合わせたまま進めていきます。英語ニュースに慣れてきたら、受講生による発表も取り入れながら授業を進めていく予定です。

各回の課題はBBCのテレビニュースから題材を選びます。政治・経済という狭い意味での時事問題にとらわれず、文化・スポーツ・芸能なども含め、受講者の関心を考慮しながら選ぶ予定です。できる限り偏りのないように工夫しながら、幅広い話題を取り扱うよう心がけます。

毎回ディクテーションの予習を行うことが前提となります。授業内では読解に力を入れ、内容によって速読・熟読と臨機応変にアプローチします。またニュース英語に頻繁に用いられる語彙や表現については、ハンドアウトでまとめ繰り返し確認し身につけていきます。英語ニュースを聴き、内容が理解でき、さらに独力で内容を詳しく調べることができるようになることを目標とします。

授業の計画:keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

期末試験(50%)、プレゼンテーション(25%)、平常点[出席、予習・授業中の学習状況](25%) (平常点では特に毎回の予習課題の取り組みが重要になります)

テキスト(教科書):

教科書は特にありません。教室で配布するハンドアウトのほか、教材・資料はkeio.jp(Box)上に配布します。詳細は初回授業で丁寧に説明いたします。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業形式は、【対面授業】となります。ただしオンライン授業の経験をもとに、補足解説動画など、学習に有効と思われるオンデマンド式の資料も併せて公開していく予定です。

予習が必須の授業となります。毎週の予習として取り組んだ課題を事前提出し、授業(+補足説明用のオンデマンド動画)で確認作業をすることで学習効果を高めてもらう形になります。予習・復習それぞれ30分~1時間程度必要になります。

さまざまなトピックを積極的に楽しむ好奇心を持った学生の参加を希望します。現時点でのリスニング力は問いません。粘り強くリスニングに取り組むことが必要となります。

質問・相談:

授業前後に質問を受け付けるほか、メールでご連絡も歓迎です。アドレスは初回授業でご案内いたします。

英語 I 中級発展 1 単位(春学期)

英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)

RW 英米の短篇小説を読む

講座番号: 168

セット履修

濟藤 葵

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、比較的読みやすいとされる英米の代表的な作家の短篇小説を扱い、小説の読み方を学習すると同時に、英語で小説を読み切ったという達成感を味わうことを目標とします。教科書の作品

に加え、プリント配付により、1年間で20人の作家の作品を精読する予定です。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

- ・平常点
- ・レポートによる評価
- ・授業内試験の結果による評価

**テキスト(教科書):**

『A Dozen Gem-like Stories 12の珠玉短篇集』 安永義夫編 金星堂  
2020年(初版1978年) ISBN:9784764703155

**担当教員から履修者へのコメント:**

- ・予習をして授業に臨んでください。
- ・授業には辞書を持参してください(スマートフォンは不可)。
- ・3分の2以上の出席が必要です。
- ・7回の授業は対面実施、残りの7回の授業はオンライン(オンデマンド形式)の予定です。なお初回授業は対面です。初回授業にて、スケジュール(対面授業とオンライン授業の日程)をお伝えします。

**質問・相談:**

- ・講義の前後に随時受け付けます。
- ・メールでも随時受け付けます。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

Zadie Smith の *On Beauty* を読む RR

講座番号: 169

セット履修

志子田 祥子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

現代のイギリスの作家 Zadie Smith の長編小説 *On Beauty* の第一部と二部を読みます。語り手や視点といった、小説に限らず文章を読む際に必要な英文読解のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。

登場人物や場面の理解、物語の展開の確認だけでなく、有用語彙や構文、文法項目等の確認も行うことで総合的な英語力の向上を目指しましょう。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

春学期平常点 25%、春学期課題・試験 25%、秋学期平常点 25%、秋学期課題・試験 25% の比重で成績評価を行います。各学期の平常点は毎回授業時間での学びや感想をまとめて提出するコメントシート、発言・質問等による授業内活動への積極的な貢献、小テストの成績などで構成されます。3 回以上の欠席および遅刻は認めません。

**テキスト(教科書):**

Smith, Zadie. (2005/2020). *On Beauty*. Penguin. ISBN-13 : 978-0241989166

**参考書:**

Simpson, Paul. (2014). *Stylistics: A Resource Book for Students* 2nd ed. Routledge. ISBN 9780415644976

**担当教員から履修者へのコメント:**

この授業ではペア/グループ・ワークや少人数でのディスカッションなど共同作業に取り組んでいただく機会がしばしばあります。そのため、3 回以上の欠席および遅刻は認めません。コメントシート、小テスト、試験等については次回授業時に講評・フィードバックを行います。ワークシート等の授業資料は keio.jp から配布します。次回授業までの予習箇所について、わからない単語や表現の意味を調べ、自分なりの解釈をした上で授業に臨んでください。

**質問・相談:**

講義の前後に随時受け付けます。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

現代イギリスの短編小説を読む

講座番号: 170

セット履修

高橋 宣也

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

何気ない日常のうちに、人間がふと見せる心の闇を巧みに暴いた作家の作品を読みます。英語は比較的平明ながら、巧妙な筋立てと

細部にこめられたウィットが特徴です。文学作品だからこそ味わえる、英語ならではのニュアンスをとらえることを目指します。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

- ・試験の結果による評価(年2回の学期末試験)
- ・平常点: 出席状況および授業時の成果による評価

**テキスト(教科書):**

Muriel Spark, *The Portobello Road and Other Stories* 『スパーク短編小説選』(朝日出版社)

**担当教員から履修者へのコメント:**

十分な予習をして授業に臨んでください。細かいニュアンスや筋の展開の機微をきちんと理解するためにも、読み飛ばすことなく、確実に読み進めていきます。テキストには3作が収められています。授業計画は目安で、実際の状況によって変わります。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

イギリス演劇の台本を読む

講座番号: 171

セット履修

高橋 宣也

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

20世紀を代表する劇作家バーナード・ショーの代表作 *Saint Joan* を読みます。聖ジョウンとはジャンヌ・ダルクのこと。彼女の栄光と悲劇を機知に溢れた台詞でたどる歴史物語です。日本でも時々上演されます。台本とはいっても、俗な口語ではなく、吟味された言い回しや皮肉などに満ちた、味読に足るテキストです。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

- ・試験の結果による評価(年2回の学期末試験)
- ・平常点: 出席状況及び授業時の成果による評価

**テキスト(教科書):**

George Bernard Shaw, *Saint Joan* 『聖ジョウン』(金星堂)

**担当教員から履修者へのコメント:**

ストーリーの勢いを大切にしつつも、細かいニュアンスを丹念に拾っていきます。台詞量が多いので、十分な予習が必要です。芝居のステージを頭に描きながら読みましょう。授業計画は目安で、実際の状況によって変わります。また時間が許せば、ジャンヌ・ダルクに関連した映像資料なども交えて紹介する予定です。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RWS Children's Literature and Neil Gaiman

講座番号: 172

セット履修

チータム, ドミニク

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

This course has two objectives, to learn about children's literature, and to read and discuss children's novels written by Neil Gaiman.

In the first semester we will read two novels by Neil Gaiman: the very short *Fortunately the Milk*, and the longer *Coraline*. In the second semester we will read *The Graveyard Book*.

For each book we will read, think, and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional presentation of introductory children's literature theory.

This course is planned as a face to face class carried out in the classroom. Students are encouraged to contact the teacher if they have any questions or problems connected with the course.

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Evaluation will be based on attendance, class participation, assignments and class tests. There will be frequent short written assignments and one longer written assignment at the end of the semester.

**テキスト(教科書):**

*Fortunately the Milk*, by Neil Gaiman (2013)

*Coraline*, by Neil Gaiman (2002)

*The Graveyard Book*, by Neil Gaiman (2008)

All three books for the year are available as a box set.

**参考書:**

There is no reference book for this class.

**担当教員から履修者へのコメント:**

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week. There will be regular assignments which will be submitted together at the end of the course. Students wanting extra feedback or advice on the assignments should e-mail or speak to the teacher directly. This course should provide students with good reading and analytical skills, and provide a strong base in academic writing.

**質問・相談:**

Students are encouraged to contact the teacher before or after class or by e-mail if they have any questions or problems connected with the course.  
dominic.cheetham@gmail.com

**英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RWS Children's Literature. Reading *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

講座番号: 173

セット履修

チータム, ドミニク

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

This course has two objectives; to learn about children's literature, and to read and discuss two children's novels: *The Lion, the Witch and the Wardrobe*, and *The Spook's Apprentice*.

For each book we will read, think, and write about the story, and use the story to help understand children's literature theory. There will be additional reading of introductory children's literature theory.

This course is planned as a face to face class carried out in the classroom. Students are encouraged to contact the teacher if they have any questions or problems connected with the course.

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Evaluation will be based on attendance, class participation, assignments and class tests. There will be frequent short written assignments and one longer written assignment at the end of the semester.

**テキスト(教科書):**

*The Lion, the Witch and the Wardrobe*, by C.S. Lewis (1950)

*The Spook's Apprentice*, by Joseph Delany (2004)

**参考書:**

There is no reference book for this class.

**担当教員から履修者へのコメント:**

The course has a reading base, so you can expect approximately one hour of reading or research homework each week. There will be regular assignments which will be submitted together at the end of the course. Students wanting extra feedback or advice on the assignments should e-mail or speak to the teacher directly. This course should provide students with good reading and analytical skills, and provide a strong base in academic writing.

**質問・相談:**

Students are encouraged to contact the teacher before or after class or by e-mail if they have any questions or problems connected with the course.  
dominic.cheetham@gmail.com

**英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RR *Abolitionism* を読む

講座番号: 174

セット履修

辻 秀雄

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

読み応えのある英語で書かれたアメリカ史を題材にしたテキストを講読し、大学教養レベルにふさわしい英語力を身につけることを目標とします。

以下のような事柄に重点を置いています:

- ・ 学術文章レベルの英語を理解する。
- ・ 人種問題を切り口にアメリカ史の基礎事項を学ぶ。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点 (出席状況、授業参加、発表、課題による評価) 40%

試験およびレポートの結果による評価 60%

**テキスト(教科書):**

Richard R. Newman, *Abolitionism: A Very Short Introduction* (Oxford UP)  
ISBN: 9780190213220

生協に発注してあります。

**参考書:**

授業内で紹介

**担当教員から履修者へのコメント:**

春学期第1回授業は対面の予定です。

1段落ごとに担当者を決めて発表をしてもらおう予定です。発表内容は、全訳(段落のまとめ)、難しい英語表現等の解説、文化や歴史に関わる事柄の解説。履修者はレッスン範囲のテキストを読んで授業に臨み、発表に対して質問やコメントをしてもらいます。

授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなし、遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。半期5回以上欠席した者は成績評価の対象から外します。

**質問・相談:**

講義の前後に随時受け付けます。

**英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)**

Academic Skills: Presentations

講座番号: 175

セット履修

津田 敦子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

This course aims to develop students' communication and language skills in order to plan and deliver an effective presentation in English. It provides students with the tools, experience and confidence they need to present their ideas, as well as opportunities to be an audience, focusing on note-taking, asking for clarification, and offering appropriate questions and comments.

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Grades will be based on:

- 1) Active Participation and Evidence of Effort
- 2) Assignments (e.g. preparation, research, reflections)
- 3) Presentations

**テキスト(教科書):**

LeBeau, Charles, *Speaking of Speech* (Premium Edition). National Geographic Learning/Cengage Learning K.K.

ISBN: 978-4-86312-385-4

**担当教員から履修者へのコメント:**

The instructor will give

- 1) advice and suggestions on your presentations during the preparation periods; and
- 2) feedback and comments after each presentation.

**英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)**

RW 学術書の読解力養成

講座番号: 176

セット履修

徳永 聡子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業では、学術書の読解に挑戦することで、専門書や論文を読むために必要な英語読解力の養成を図ります。取り上げるテーマは「色」です。私たちの日常は、さまざまな色に囲まれています。普段意識することなく色を用いていますが、それぞれの色の識別は文化圏や時代によっても異なります。授業で扱う本は、各章が特定の色(赤、黄色、緑、青など)をテーマとしており、豊富な具体例と巧みな文章、そして鮮やかな色彩の図版を用いて、色の諸相の探求へと読者を誘います。本書の読解を通して、美術史、歴史、書物史、文学といった分野を、これまでとはまた少し違う視点から捉える機会となるかもしれません。最初は少し難しく感じるかもしれませんが、担当教員が解説を加えます。前提知識は問いません。年間の授業を

通して、精読やグループディスカッション、口頭発表（日本語・英語）などの多様な学習スタイルを取り入れます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点（出席、予習、授業への取り組み）、試験、口頭発表、課題物の提出の総合点で評価します。

**テキスト(教科書):**

David Scott Kaftan, *On Color*, with Stephen Farthing (New Heaven and London: Yale University Press, 2010) -- 図書館でオンライン版が入手できるので、購入の必要はありません。

**担当教員から履修者へのコメント:**

- ・初回を含め原則として教室で授業を行います（但し、5/4はオンデマンド授業の予定）。
- ・予習をして授業に臨んでください。
- ・各学期、特別の理由なく4回以上欠席すると単位取得は難しくなります。事情がある場合は早めに相談してください。

**質問・相談:**

授業の前後、メール、事前の予約による面談で受け付けます。

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

高級紙を読み解く——知的に英語を読むために

講座番号: 177

セット履修

新名 ますみ

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

皆さんはこの大学に入るまでに数多くの英文を読んできたでしょう。英文法も不足なく学んできたことでしょう。そうであれば、もう英文を読むという行為は完成されたと思っているかも知れません。しかし、意味は十分に取れているはずの英文を「知的に読む」となったらどうでしょうか。内容を具体的に把握し、言葉遣いやリズムにも注目し、皮肉やユーモアを拾い上げ、さらに言外に示唆された主張を読み解こうと言われたらどうですか。少なからず戸惑うのではないのでしょうか。

そのようなチャレンジにふさわしいのが、『タイムズ』や『ガーディアン』などに代表される高級紙です。欧米人の教養を体現していると言っても過言ではない高級紙には、多岐にわたる題材、豊かな表現、鋭い洞察が展開されています。「顔文字誕生秘話」や「馬の調教で再犯防止!？」などの興味をそそられる記事を読みながら、英語のみならず文化や考え方を学ぶことで、知的な読解力を身につけていきましょう。

授業は、①和訳を事前に提出した上で、②和訳、文法、内容理解については、授業中に意見を出し合いながら進め、③次回の授業で（又は次回の授業までに）復習のための小テストを行う、という形で進めていきます。和訳は採点した上でフィードバックし、優秀なものについては授業内で紹介するので、時間をかけて取り組むことをお勧めします。なお、より豊かに英文を理解するために、テキストの朗読も適宜取り上げる予定です。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

和訳(事前提出): 30%

授業中のパフォーマンス(発言・朗読など): 40%

試験(復習テストを含む): 30%

**テキスト(教科書):**

プリント（授業時に配布、又はCANVAS上にて公開します）

**参考書:**

授業中に適宜紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

- ・この授業は全回において対面授業を予定しています。
- ・テキストの和訳を入念な準備の上で全員に提出してもらうので、綿密な英文和訳や精読に興味のある学生を歓迎します。単なる逐語訳以上の和訳のために予習は2時間程度、復習は毎回の小テストのために1時間程度は行いましょう。
- ・フィードバックについては、試験の解説は授業内で行い、結果や成績はCANVASから個別にお知らせします。

**質問・相談:**

CANVASのメールシステムを利用するか、或いは下記のメールアドレスに連絡してください。

m-niina@keio.jp

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RSL Ethical Issues, High-Intermediate Level

講座番号: 178

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

The main objective of this course is to help you improve your English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective: in the spring semester, we will look at human rights; in the fall semester, topics will include poverty, medicine and the environment. You will be expected to complete all assigned outside readings and research and present case studies each semester. You will also read one book of your choice in English and write a book summary (due at the beginning of fall semester). During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall.

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Your grade will be based on class attendance, class participation, all written homework, tests, and case study presentations. All classes will be conducted in English only.

**テキスト(教科書):**

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at Canvas (keio.jp website). You will also need to choose one book in English to read. I will explain more about this in the first class.

**担当教員から履修者へのコメント:**

All sessions will be conducted face to face (in person) at Hiyoshi unless the COVID situation changes.

Students are expected to come to class prepared for class discussions. I also expect you to conduct all discussions in class IN ENGLISH. I look forward to teaching students who are interested in the topics we will be discussing.

**質問・相談:**

Students can contact me via email or before/after class.

**英語 I 中級発展 1 単位(春学期)**

**英語 II 中級発展 1 単位(秋学期)**

RSL Reading and Communication Skills, High-Intermediate Level

講座番号: 179

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

The goal of this course is to help you improve practical reading, listening and communication skills. We will explore current issues such as psychology, corporate social responsibility (CSR), advertising, etc. Students will do outside research on each topic, learn related vocabulary, listen to audio interviews, and discuss the issues in small groups. There will be outside reading homework for each topic. An exam will be given after each unit. You will be doing presentations for some of the units. You will also read one book of your choice in English and write a book summary (due at the beginning of Fall semester). During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall. We will complete a unit approximately every 3-4 weeks.

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Your grade will be based on attendance, class participation, written homework, presentations, and tests. All the work on the Q classroom online site is also required.

**テキスト(教科書):**

Q: Skills for Success 4 Listening and Speaking\*, 3rd edition (Oxford University Press)

\*Important: Please buy the paper copy of the book, not the e-book. The class codes for the online site for the e-book must be purchased separately. The paper book comes with the codes.

All other materials will be available for download at Canvas (keio.jp website).

**参考書:**

You will also need to choose one book in English to read. I will explain more about this in the first class.

担当教員から履修者へのコメント:

All sessions will be conducted face to face (in person) at Hiyoshi unless the COVID situation changes.

Students are expected to come to class prepared for class discussions IN ENGLISH. I look forward to teaching students who are interested in the topics we will be discussing.

質問・相談:

Students can contact me via email or before/after class.

---

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

RR 中世アイルランドの「神話」とファンタジー

講座番号: 180

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、中世アイルランド語で書かれた「起源神話」*Lebor Gabála Éirenn*を、現代英語でファンタジー仕立てに再話した作品を読みます。ケルト語神話・伝承についての入門的な性格を持った授業になります。

秋学期には、*Lebor Gabála Éirenn*を読み終わり、それを踏まえて、学問的な論考も読みます。専門課程で必要とされる学術的な文献読解力へとつなげることを目的とします。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

配布される教材・資料などすべては、厳密に授業の目的の使用にのみ限定されます。

質問・相談:

随時受け付けます。

---

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

RL J.R.R. Tolkien の *The Lord of the Rings* に関する論考を読む

講座番号: 181

セット履修

辺見 葉子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期は、J. R. R. Tolkien の *The Lord of the Rings* と、ピーター・ジャクソン監督による映画化作品に関する論考を読みます。論考の中で議論の対象となっている映画シーンをDVDで確認しながら、必要に応じて原作や映画スクリプト、関連文献なども読みます。

秋学期は、"dwarf", "elf", "fairy", "hobbit"などのキーワードを中心に、Tolkienの言語世界をより広い視野から論じた論考 *The Ring of Words* を読みます。Tolkienの物語世界への理解を深めるとともに、論文の論旨を適確に把握し、専門課程で必要とされる文献読解能力を養成します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

平常点 [予習・授業中の学習状況] (50%)、春・秋期末試験 (50%)

テキスト(教科書):

keio.jp から各自でダウンロード・プリントアウトして下さい。

参考書:

文庫 新版『指輪物語』全10巻 J. R. R. トールキン著、瀬田貞二・田中明子訳 評論社

その他、授業中に適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

論文の理解に必須ですので、原作 *The Lord of the Rings* (翻訳『指輪物語』で構わない) を読み、かつ映画(DVD/BD)を見ておくことを強く奨励します。

また、授業には予習を完全にした上で臨むことが求められます。

質問・相談:

随時受け付けます。

---

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

RS Introduction to Psychology

講座番号: 182

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. The theme of this class is psychology and the goal is to give students a comprehensive introduction to the subject. Although there is no textbook in this class, students will be given extensive readings, from source material (such as Kendell, Szasz, Freud, Jung, Rogers, Beck, among others), and will be expected to devote time to understanding these historically important texts. In addition to these readings, extensive use of documentary films will help students gain a solid understanding of both the theoretical underpinnings of and the practical side of psychotherapy. In the spring semester, students will learn about the major classes of mental illness and, in the autumn semester, they will learn about influential theories of mental health and therapy.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, timely completion of all homework assignments, and final reports.

テキスト(教科書):

There is no textbook in this class. The instructor will provide source readings and worksheets, as well as relevant websites, for each lesson. They will all be posted on our class homepage on Canvas.

参考書:

Royal College of Psychiatry (www.repsych.ac.uk)

American Psychiatric Association (www.psychiatryonline.com)

担当教員から履修者へのコメント:

The instructor's expectations are regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments (about one hour each week), and active participation in class (using English at all times). All class sessions will be conducted in person. Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have, in the classroom or via Canvas or email. This course will help students improve their English reading skills, and will provide them with a firm foundation for understanding psychology.

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email (jay@keio.jp).

---

英語 I 中級発展 1 単位 (春学期)

英語 II 中級発展 1 単位 (秋学期)

RS Greco-Roman Myths

講座番号: 183

セット履修

ロ・ディオ, マウロ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course aims to expose students to some of the most famous ancient Greek and Roman myths, which have influenced Western culture and beyond throughout the ages.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance & Participation: Students are expected to arrive on time for each class and actively participate in it. Arriving late, leaving early, sleeping, using a phone, speaking Japanese, or not participating in general will be negatively evaluated and in principle will not be tolerated. Four or more absences per semester will result in the failure of this course.

12 Homework assignments (12%) per semester: 1% / assignment completed on time.

13 Quizzes (88%) per semester: Three quizzes will be worth 6% each, and ten will be 7% each. Unexcused late or absent student receives 0% / quiz.

テキスト(教科書):

Hamilton, Edith. (2011). *Mythology: Timeless Tales of Gods & Heroes*. Grand Central Publishing. ISBN 9780446574754

担当教員から履修者へのコメント:

All classes will be given in person only. Students will learn about ancient Greek and Roman mythology by completing reading comprehension exercises for homework; and listening to brief lectures, watching relevant media, discussing the stories to consolidate the material, and writing weekly quizzes in class. Therefore, they must bring to each class the textbook, a folder, and writing material, especially a red pen. Students are encouraged to review the relevant material a few minutes every day for each weekly quiz.

質問・相談:

Students can contact the instructor via the details found on the syllabus provided in the first class.

## 【上級】

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

Agatha Christie's Detective Stories

講座番号: 191

セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Spring Term:

The course uses detective fictions by Agatha Christie to advance students' reading and writing ability in English. In the spring semester, the class is going to read one of Christie's detective dramas, "The Mousetrap."

In the spring semester, students' individual tasks involve 2 vocabulary quizzes, weekly reading assignment and completing comprehension worksheets.

There is a group task for students to work together: reading aloud a part of the drama. Students will be made into groups, and each group will choose a scene/section to read aloud and record their audio performance.

Autumn Term:

The reading material for the autumn semester is Agatha Christie's novel, *Curtain*. We are going to do the following activities in the class: reading the novel, completing weekly comprehension worksheets, watching its TV adaptation, and a final presentation.

There will be reading and writing assignment every week. Students need to download a comprehension worksheet from CANVAS to answer questions regarding the reading assignment for the week. Some chapters will be substituted by the TV adaptation of the novel.

There is a final audio presentation in the autumn semester. For the project, each group is required to write their own script based on one of the cases mentioned in the novel. Each group will also have to create an audio recording based on their own script. The results of the audio project will be presented on the final day of the semester.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

**Spring Semester**

Participation 5%

Quizzes 10%

Comprehension worksheets 20%

Group Task: 15%

**Autumn Semester**

Participation and Attendance 5%

Final Presentation 20%

Comprehension Worksheets 25%

テキスト(教科書):

All class material is available on CANVAS

担当教員から履修者へのコメント:

Other requirements:

1. Students who miss 3 classes in a semester will fail the course.
2. Students who turn up 10 minutes after a class (online or on-site) begins will be considered late.
3. Arrival/appearance later than 30 minutes after a class begins is treated as an absence.
5. For absences due to medical reasons, the student needs to contact the instructor through email and supply medical documentation later.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

(RWS) American Gothic Fiction

講座番号: 192

セット履修

バナード, ピーター

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In this class, we will explore the landscape of weird, fantastic, and horror fiction in America from the early 1900s to the present day. Reading a selection of short stories showcasing a wide diversity in terms of historical context, authorial background, and thematic approach, students in this course will gain a basic understanding of the literary landscape of American Gothic fiction.

This class will be conducted in a seminar style, and throughout the year we will consider the following questions: What does "American" mean in these stories of horror and the supernatural? What does "Gothic" mean in the context of America, as opposed to the British Isles or even Japan? In other words, what makes "America," in particular, scary? Using the texts as our starting point, we will discuss these issues and more during our class meetings, and students will be asked to complete a series of written exercises engaging with such themes throughout the course.

Students who take this class can expect to improve their English skills in the following ways:

(R)eading: students will gain practice reading literary forms of English with proficiency, attentiveness, and confidence. Students will continue to solidify their grammatical understanding of written English, but, more importantly, will also gain significant practice "reading between the lines" for implied meanings and themes not explicitly stated in the text.

(W)riting: students will gain regular practice producing a well-formed argument or opinion in written English and supporting that argument with paragraph-length writing exercises. In this regard, writing instruction will not be focused primarily on grammar and vocabulary choice, but rather on more holistic issues of communicating clearly and convincingly in written English.

(S)peaking: this class will be conducted ENTIRELY IN ENGLISH. Speaking Japanese or other languages besides English will not be permitted during class time. This is meant to encourage students to learn how to express their opinion about themes and meanings regarding literary texts in spoken English during class time, as well as how to ask interpretive questions and confirm grammatical points in English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades will be calculated as follows:

40% Regular attendance and active participation in class discussion.

30% Short writing exercises, either conducted as homework or in class (this includes short in-class quizzes).

30% Final exams.

You will need passing grades on all course requirements to obtain a grade for the course.

If you miss more than three class sessions you will receive a failing grade for the course.

Any instances of plagiarism or other academic dishonesty will immediately result in a failing grade for the course.

テキスト(教科書):

All reading assignments will be distributed by the instructor in class.

参考書:

Students are required to have access to a good English dictionary.

担当教員から履修者へのコメント:

Please note that this class will be conducted ENTIRELY IN ENGLISH. Speaking Japanese or other languages besides English will not be permitted during class time. Actively participating in each class session is a significant part of the final grade for this course.

Students will be expected to complete the assigned reading thoroughly as homework each week.

Students who make a good effort speaking up in class--both with the instructor as well as with their peers--and who complete the weekly readings and assignments will likely succeed in this course. Students who attend class sessions but who do not participate actively, or who do not do a good job with their homework, have a high chance of failing the class.

As noted above:

You will need passing grades on all course requirements (i.e. attendance/participation; short writing exercises; final exams) to obtain a grade for the course.

If you miss more than three class sessions you will receive a failing grade for the course.

Any instances of plagiarism or other academic dishonesty will immediately result in a failing grade for the course. If you have any questions about what constitutes plagiarism or academic dishonesty, you should contact the instructor at the start of the semester.

質問・相談:

Students can contact me via email (to be distributed on the first day of class); students are also welcome to schedule office hours to discuss assignments and other course-related matters.

---

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

RSL Advanced Ethical Issues

講座番号: 193

セット履修

ピアソン・ウメツ, ナンシー E.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The main objective of this course is to help you improve your already advanced English reading and communication skills. We will examine current issues from an ethical perspective: in the spring semester, we will look at human rights; in the fall semester, topics will include poverty, medicine and the environment. You will be expected to complete all assigned outside readings and to research and present case studies each semester. You will also be required to read three books in English during the year (your choice) and write book summaries. During summer vacation, you will follow a current event topic and present it to the class in the fall.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Your grade will be based on class attendance, class participation, all written homework, case study presentations, and tests. All classes will be conducted in English only.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this course. All materials will be handed out in class or available for download at Canvas (keio.jp website). You will need to choose three books in English to read during the year. I will explain more about this in the first class.

担当教員から履修者へのコメント:

All sessions will be conducted face to face (in person) at Hiyoshi unless the COVID situation changes.

I look forward to teaching students who are motivated and interested in the topics we will be discussing.

質問・相談:

Students can contact me via email or before/after class.

---

英語 I 上級 1 単位(春学期)

英語 II 上級 1 単位(秋学期)

RW: English Gardens as Sites of Artistic Endeavors and Ideological Struggles.

RW: 'Three Waves of Feminism' and Gender Representation.

講座番号: 194

セット履修

ラーデマツハ, ジエハジン M.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Spring Semester:

Throughout the centuries, gardens in England have functioned as aesthetic sites marked by human artistic creativity. They have provided a space for recreation, as well as a ground for ideological struggles and social reforms. In fact, the apparition of 'English landscape gardens' in the eighteenth century stemmed from a revolt against the artificiality and rigidity of 'Knot Gardens.' In this course, we will discuss the role that these green spaces played in shaping individuals' experience and awareness of their surroundings. We will question the way the images of gardens and nature are employed in literature and how they have contributed to the imperialist/colonial, feminist and ecological discourse.

This discussion-based seminar will examine the representation, function and meaning of English gardens as they are portrayed and imagined in various literary works such as *Winnie-the-Pooh*, *Peter Pan in Kensington Gardens* or 'The Garden of Love.'

Students will learn about the representation of English gardens in literature.

Students will develop their critical and analytical reading skills.

Classes will include mini-lectures as well as small group work.

Fall Semester:

This seminar explores the interdisciplinary field of gender studies and focuses on feminism as well as queer studies.

We will examine how the ideas advocated by the 'Three Waves of Feminism' are expressed in literature, movies and other media from the late 19th to the early 21st century in relation to the historical and socio-political context of the time. While first-wave feminism concentrates mainly on the suffrage question, second-wave feminism, greatly influenced by the French writer Simone de Beauvoir, broadens the feminist discourse by incorporating a wide range of issues such as reproduction and division of labor. These issues were popularized in the media of the sixties and seventies in their representation of women. Later perceived as too Eurocentric, second-wave feminism was followed by third-wave feminism, which considers the question of diversity and individualism. It seeks to be more inclusive and to transcend traditional gender roles/identity by adopting a less dualistic approach.

In this discussion-based seminar, we will introduce important ideas of gender theories through a series of structured mini-lectures and readings. These include the works of Virginia Woolf, Simone de Beauvoir and Judith Butler etc... As part of our conversation, we will read excerpts, watch short film sequences and look at images of gender as represented in Hollywood movies and other narratives.

Students will learn about the three waves of feminism and gender theories.

Students will develop their critical and analytical reading skills

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades based on in-class participation and homework.

Grades based on in-class tests and submitted assignments.

テキスト(教科書):

There is no assigned textbook for this course. The readings will be made available to students in the form of handouts and online materials.

## 参考書:

Aalto, Kathryn. (2015). *The Natural World of Winnie-The-Pooh*. Timber Press. ISBN:978-1-60469-599-1  
 Munroe, Jennifer (2016). *Gender and the Garden in the Early Modern English Literature*. Routledge. ISBN:978-1-138-27381-8  
 Rivkin, Julie and Michael Ryan (2004). *Literary Theory: An Anthology* 2nd ed. Blackwell Publishing. ISBN:978-1-4051-0695-5  
 Rogers, Elizabeth B. (2011). *Writing the Garden: A Literary Conversation Across Two Centuries*. Allison & Busby publishers. ISBN: 978-0-7490-1690-6

## 担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are interested in the selected topic. You will receive individual feedback on your written assignments/exams in due time.

You are expected to be on time for class. More than three absences will not be approved.

Please prepare for our meetings by reading the assigned handouts and answering focus questions before coming to class. You are also strongly encouraged to review what has been done in previous sessions (estimated preparation time: ~60-100 mins/week).

## 質問・相談:

I will be available for students after class for questions and consultation. I will also answer questions via email.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

RWL: The World of 'Downton Abbey': Englishness and Aristocracy.

RW: Jungian Archetypes in Literature and Visual Narratives.

講座番号: 195

セット履修

ラーデマツハ, ジエハジン M.

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Spring Semester:

This seminar explores the notion of 'Englishness' in relation to the aristocratic world during the Edwardian and interwar era as it is depicted in the popular British TV series 'Downton Abbey' (2010). The Edwardian period was marked by prosperity and was a witness to significant changes in political and social life. It was also a time when a feeling of disarray, occasioned by the Great War, prevailed.

We will discuss how these circumstances have influenced the concept of 'Englishness' and we will examine as well as question how these issues are expressed in Julian Fellowes' 'Downton Abbey,' which portrays the life of an aristocratic family and their domestic servants in the early twentieth century and offers an insight into the British social hierarchy. It is within this framework that we will engage with the historical construction of English national identity and explore the disruptive influence of conflicts about class, gender and race which is suggestive of a new vision of 'Englishness'.

In this discussion-based seminar, students will learn about the concept of 'Englishness' and social hierarchies through a series of structured mini-lectures and readings. They will develop their critical and analytical reading skills. As part of our conversation, we will watch short sequences of 'Downton Abbey' and examine how English identity is represented in this popular British TV series.

Students will learn about as well as question the concept of 'Englishness.' Students will further develop their critical and analytical skills.

Fall Semester:

This seminar will introduce students to Carl Gustav Jung's theories of archetypal psychology and will explore the strong connection that exists between literature, gender studies and psychoanalysis. This course will be divided into two parts: first, we will work to understand Jung's notion of collective unconscious as well as his concept of archetype. Then, we will recognize and discuss a wide range of universal images, symbols, and patterns, including the archetype of 'Femme Fatale' and the figure of the mother, as they are represented in poetry, creative nonfiction, prose fiction and visual narratives. These include the works of Bram Stoker, James Joyce, and Lord Byron, as well as James Bond and Batman movies.

In this discussion-based seminar, students will be expected to prepare assigned readings and to respond to materials individually or in small groups. They will also be required to complete short writing assignments. We will practice literary and critical analysis on a weekly basis.

Students will learn about archetypes and how to apply psychoanalysis to literature and movies.

Students will further develop their critical and analytical skills.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Grades based on in-class participation and homework.

Grades based on in-class tests and submitted assignments.

テキスト(教科書):

There is no assigned textbook for this course. The readings will be made available to students in the form of handouts and online materials.

参考書:

Fellowes, Jessica (2011). *The World of Downton Abbey*. Harper Collins Publishers. ISBN:978-0-00-743178-6

Warwick, Sarah (2011). *Upstairs and Downstairs*. Carlton Publisher. ISBN: 978-1-84732-790-1

Giles, Judy and Tim Middleton (1995). *Writing Englishness: 1900-1950*. Routledge. ISBN:0-415-11441-1

担当教員から履修者へのコメント:

I look forward to teaching students who are interested in selected topic in English literature.

You will receive individual feedback on your written assignments/exams in due time.

You are expected to be on time for class. More than three absences will not be approved.

Please prepare for our meetings by reading the assigned handouts and answering focus questions. You are also strongly encouraged to review what has been done in previous sessions (estimated preparation time: ~60-90 mins/week) and to ask questions about what you don't understand.

質問・相談:

I will be available for students after class for questions and consultation. I will also answer questions via email.

英語 I 上級 1 単位 (春学期)

英語 II 上級 1 単位 (秋学期)

RS Victorian Prose Literature

講座番号: 196

セット履修

ロ・ディコ, マウロ

## 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

In the spring semester, students will be introduced to Victorian (1837-1901 in Britain) prose literature by exposing them to some of the most famous fairy tales written during the early (1837-60) and middle (1861-80) periods of that era. Then, in the fall, they will continue their exposure by studying a novel, the iconic genre of the period. They will read and understand *The Picture of Dorian Gray* (1890) as a representative text of the late Victorian age (1881-1901).

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Attendance & Participation: Students are expected to arrive on time for each class and actively participate in it. Arriving late, leaving early, sleeping, using a phone, speaking Japanese, or not participating in general will be negatively evaluated and in principle will not be tolerated. Four absences or more will result in the failure of this course.

12 Homework assignments (12%) per semester: 1% / assignment completed on time.

13 Quizzes (88%) per semester: Three quizzes will be worth 6% each, and ten will be 7% each. Unexcused late or absent student receives 0% / quiz.

テキスト(教科書):

Newton, Michael, ed. (2015). *Victorian Fairy Tales*. Oxford UP. Oxford World's Classics. ISBN 9780198737599

Wilde, Oscar. (2007). *The Picture of Dorian Gray and Three Stories*. Signet Classics. ISBN 9780451530455

担当教員から履修者へのコメント:

All classes will be given in person only. Students will read Victorian prose, and summarize passages for homework; then complete

comprehension activities, listen to brief lectures, watch media, and discuss the content in class in order to consolidate the material. Therefore, they must bring to each class the textbook, a folder, and writing material, especially a red pen. They are also expected to review all the content necessary for the weekly quizzes.

質問・相談:

Students can contact the instructor via the details found on the syllabus provided in the first class.

## 【最上級】

英語 I 最上級 1 単位 (春学期)

英語 II 最上級 1 単位 (秋学期)

Close Reading of Literary Works

講座番号: 201

セット履修

タイ, ワンチェン

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course seeks to develop students' ability to do close reading of literary texts (essays and short stories), to understand and interpret narratives, and to discuss related issues. The course aims to explore what words say on the paper, how they say it, and what they mean to readers. Some examples of the topics that this year's course covers include, not exclusively: pandemic, gender, identity, race, diaspora, and education. (For titles, see the syllabus online.) The collection of titles consists of works written by mostly modern and contemporary authors, such as George Orwell, Jhumpa Lahiri, Toni Morrison, Amy Tan, Kazuo Ishiguro, etc.

Students are responsible for reading an assigned text and completing a corresponding comprehension worksheet every week. Additionally, each student needs to do one presentation on a chosen text (among the class materials) in each term.

Essays and their corresponding comprehension worksheets are available for download on CANVAS. Comprehension worksheets have to be completed and submitted by 11:55pm every Sunday.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Comprehension worksheets 40%

Presentation 40%

Participation 20%

テキスト(教科書):

Class Materials are available on CANVAS.

担当教員から履修者へのコメント:

1. A student who misses 3 classes in a semester will fail in the course.
2. A student who turns up 15 minutes after a class (online or on-site) begins is considered late. Appearance later than 30 minutes after the class starts is treated as an absence.
3. For absence due to medical reasons or other inevitable reasons, please inform the instructor via email.

質問・相談:

Students may contact the instructor at wanchentai@a5.keio.jp.

## 必修としない英語

(希望者のみ総合教育科目(系列外)として履修)

「英語インテンシブ I A / 英語インテンシブ II A,  
英語インテンシブ I B / 英語インテンシブ II B」(各1単位)

必修の英語だけではなく、英語をさらに学びたい人のための科目です。コミュニケーション能力の向上に特化したクラスもあります。ぜひ活用してください。なお対象は、プレイスメントテストの判定が中級・中級発展レベルの人です。

【セット科目】は、春・秋学期を通じて履修してください。なお、初回でクラスのサイズ調整のために受講生の選考が行われる場合があります。

英語インテンシブ I A 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位 (秋学期)

Photography Studies

セット履修

ヤング, ジェローム

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

The aim of this class is to help students improve their ability to communicate naturally in English. As this is an intensive English class, students can expect to be speaking English extensively in class each week. The theme of this class is, broadly speaking, photography and film and the goal is to examine the subject comprehensively. Students will learn about the history of photography and film and will research about its aesthetic, moral, and psychological influence on modern society. All modern societies have to be understood in terms of communication between reality and the image, and the most successful system of images in history is provided by the camera. Classroom discussions and homework assignments (including photographic fieldwork) will focus on helping students develop a deeper understanding about the relation of photography to the modern world, to our sense of right and wrong, and to what we believe to be true. One photographic theme will be covered each week and classroom discussions will revolve around students' weekly contributions. Active and enthusiastic participation and regular attendance in this class are essential, and are guaranteed to help students become better speakers of English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

There will be continuous evaluation of a student's performance and progress in this class. Final grades will be based on attendance, active class participation, and timely completion of all homework assignments, including fieldwork assignments.

テキスト(教科書):

There is no textbook in this class. While the instructor will provide weekly photographic themes (as well as readings, worksheets, and relevant websites) for each lesson, students will be expected to bring in their own research material (photographs) each week. The class readings and assignments will all be posted on our class homepage on Canvas. Fieldwork activities with the camera will also be assigned periodically.

担当教員から履修者へのコメント:

The instructor's expectations are regular on-time attendance, preparation of weekly homework assignments (about one hour each week), and active participation in class (using English at all times). All class sessions will be conducted in person. Students can expect feedback on assignments, classroom activities, and questions they have, in the classroom or via Canvas or email. The main goal of this course is to help students improve their English speaking ability and, with their individual commitment, they can fully expect to be better English speakers by the end of the course (and to learn a lot about photography, too).

質問・相談:

When students have questions, they can ask me before, during, or after class, or via email (jay@keio.jp).

英語インテンシブ I A 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II A 1 単位 (秋学期)

The Time Traveler's Guide to Georgian London

セット履修

若澤 佑典

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

[Spring Course Overview]

This seminar class invites first-year students to an amusing trip back to eighteenth-century Britain. We will explore the vivid scenes of everyday life in Georgian London through reading travel literature, maps and portraits. Lucy Inglis's *Georgian London: Into the Streets* (2013), the textbook of this course, works as a window to the past. The weekly activities of this course include (1) visiting online museums, galleries and libraries, (2) walking around Hiyoshi, (3) drawing your own London map, and (4) planning an exhibition of eighteenth-century objects. The course is designed for those who are keen to immerse themselves in the convivial world of English with a focus on history, geography and visual culture. Class participants are not expected to have extensive knowledge on British history in advance. The class activities aim to develop their intellectual curiosity about the past, and to consolidate their academic background.

[Autumn Course Overview]

We continue to explore Georgian London. Weekly assignments lead students to develop the "art of thinking and sharing" their opinions. They will learn how to connect their daily experience with academic inquiries. The seminar class mediates their encounter with various fields of research including social history, urban geography, museum studies and visual culture. The course instructor helps them to understand how historians/philosophers/critics read, write and talk in English.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Weekly Assignments 50%

In-Class Discussions/Presentations/Conversations 50%

テキスト(教科書):

Lucy Inglis, *Georgian London: Into the Streets*. (London: Penguin, 2013)

ISBN: 978-0-670-92014-3

参考書:

[Supplementary Learning Resources]

"Georgian Britain" from the British Library Website

<https://www.bl.uk/georgian-britain>

"The Eighteenth Century" from the V&A Museum Website

<http://www.vam.ac.uk/page/0-9/18th-century/>

"An Introduction to Georgian England" from the English Heritage Website

<https://www.english-heritage.org.uk/learn/story-of-england/georgians/>

"The Georgian Era" from the Royal Museums Greenwich Website

<https://www.rmg.co.uk/stories/topics/georgian-era>

担当教員から履修者へのコメント:

This seminar class is conducted in the "all in English" format. The course instructor understands that many students find it a big challenge to think and communicate in English. Please feel relaxed and enjoy your encounter with new friends and academic subjects. The past courses show that students can achieve more than what they expected at the beginning. There is no preliminary requirement for attending the course. Just keep your intellectual curiosity and come to the classroom!

質問・相談:

The course instructor is happy to have an individual meeting with students about their English learning and academic interests. Please come to see him after the seminar class, or book an appointment.

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Speaking and Thinking through Philosophy

RS

セット履修

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

This course offers students opportunities to practice expressing their opinions using logical reasoning and to improve their critical-thinking skills through discussions on contemporary issues and the "big questions" in life. Students will also learn some of the latest research in psychology and neuroscience—how the brain works. Students are not expected to have any background knowledge in philosophy. The spring term will look at philosophical traditions and focus on human nature & the human condition; the universe and reality; and ethics and morality. The autumn term will focus on the human mind, consciousness, and intelligence; society and government; and science and technology.

This class uses a cooperative learning approach, which gives students maximum speaking and listening practice in small group discussions. Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions. Writing skills include paragraph structure (spring) and a final researched essay (autumn). Students will also learn effective public speaking skills through individual presentations (spring) and Oxford-style debates (autumn). Student are expected to keep a journal in English throughout the course.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Contributions to class discussion: 40%; writing assignments: 20%; presentations 20%; quizzes: 10%; homework: 10%.

テキスト(教科書):

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials via Canvas.

参考書:

The Stanford Encyclopedia of Philosophy

<https://plato.stanford.edu>

Philosophy Crash Course: <https://www.youtube.com/watch?v=BNYJQaZUDrI&list=PL8dPuuaLjXtNgK6MZucdYldNkMybYIHKR>

担当教員から履修者へのコメント:

Homework: Each week, students will receive listening and/or reading materials to prepare for class discussions via Canvas. Students should spend 10 minutes each day free writing in their journals. In addition, students will work on several formal writing assignments and speeches. Written feedback will be given for all assignments.

This class will meet in person. I will be available for questions and consultation before, during or after class times or by appointment arranged by email. Please check Canvas for this course to get instructions and assignments.

Materials needed: A notebook for journal writing, a dictionary, vocabulary cards

英語インテンシブ I B 1 単位 (春学期)

英語インテンシブ II B 1 単位 (秋学期)

Leadership and Soft Skills for the 21st Century

RS

セット履修

ノブオカ, メアリー

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Business leaders have expressed dissatisfaction with the lack of soft skills among university graduates. In this course, students will build a foundation for 21st-century leadership and soft skills: goal setting, time management, problem solving and decision-making, communication skills, thinking skills, and more. These skills will help students with their short-term academic goals as well as long-term life and career goals in a competitive job market and an economy that is becoming more dependent

on automation. Student will also improve their public speaking and critical thinking skills.

This class is conducted in a cooperative-learning style, in which students discuss key concepts in small groups. There will be occasional lectures with note taking. To prepare for each class, do the reading and listening materials posted on Canvas and take the quizzes focusing on the ideas and key vocabulary to be introduced in each week's class.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Students will be evaluated on the following criteria: in-class participation & group contributions (40%), weekly quizzes (10%), writing assignments (self-intro, a journal, paragraph practice, speech writing and a 5-paragraph essay) (20%); and presentations (30%).

テキスト(教科書):

There is no textbook for this class. The teacher will provide all study materials on Canvas.

担当教員から履修者へのコメント:

This class will meet in person. Students who are eager to participate in English will succeed in this course. Students are expected to bring study supplies: a writing instrument, note paper/notebook, a journal (separate from note-taking), a dictionary and vocabulary cards. Class engagement is very important. Note: Homework to prepare for class discussions will consist of reading and listening, totaling about 1 to 1-1/2 hours/week.

Presentations

Students will prepare 2 presentations using the skills they learned in this course. The spring-term presentation will be an in-depth and researched look at the student's role model. The fall-term presentation will be based on the student's research of a topic or skill from this syllabus or a topic related to leadership/soft skills.

## ドイツ語

文学部でドイツ語を履修する学生は、週3回（うち、1回はドイツ人）の授業を受けることになります。文法、訳読、作文、会話を通じて、発音から接続法までドイツ語の基礎はひととおり終了することになります。ひととおりとはいっても、ここで得た知識を活用することに慣れれば、2年次以降、小説を読むにしても、独作文をするにしてもそれほど苦労はしないはずです。すでに高等学校その他でドイツ語を勉強してきた学生のためには、中級、上級のクラスが設置されています。最近よく「使える外国語」という言葉を耳にいたします。なにをもって「使える」というのか議論の分かれるところですが、従来行われてきた訳読中心の授業に対する批判がこめられていると考えてよいでしょう。つまり発信型の外国語が求められているのです。そうした要望に答えるため、文学部では、必修科目としてのドイツ人の授業の他、誰でもが自由に履修できるドイツ語会話の授業が2コマ設置されています。しかし発信のためだけの外国語であっても困るのです。大学での外国語は、まず文学や哲学、あるいは歴史を研究する際の手段であることが求められています。私たちとしてはドイツ語に限らず、外国語を通じて皆さんに豊かな教養を積んでいただきたいと思うのです。「教養」を口にするのは相当に照れくさい。フンボルトやゲーテの名前をもち出して人格形成を訴えることに恥じらいを覚えます。しかし、それなくして何のための大学かと思えます。ドイツではすでに19世紀半ば、ブンゼンやラウマー等が高等学校での詰め込み式授業の弊害を訴えておりました。ゲーテもまたエッカーマンとの対話のなかで、早期の高度な専門教育が若者から人間形成のエネルギーを奪っている点を指摘しています。受験競争のため、皆さんにはこれまで小説など受験科目以外の読書に費やす時間の余裕はなかったことでしょう。それをいま、感受性の強い学生時代に果たしていただきたいと思うのです。「教養」という言葉も曖昧な使われ方をしていますが、ひとつ言えることは、物知りであることよりも正しい判断の下せることが大切でしょう。これに文学や哲学の知識をベースとして美術や音楽の鑑賞力が加われば申し分ありません。そのためには、日本語に頼るだけでは足りません。外国語による幅広い教養が求められていると思うのです。私たち教員サイドも様々な創意工夫を重ねる必要があります。同時に、皆さんの積極的な授業への参加が期待されます。

参考書：平尾・中島他著『初心者のためのトレーニング・ドイツ語』（白水社）

和山謙三郎著『独検4級・3級ドイツ語入門』（朝日出版）

独和辞典：アポロン独和（同学社）、クラウン独和（三省堂）

新アルファ独和（三修社）、マイスター独和（大修館）

### ドイツ語Ⅰ／ドイツ語Ⅱ

ドイツ語Ⅰ 1単位(春学期)

ドイツ語Ⅱ 1単位(秋学期)

ドイツ語の基礎を学ぶ

田中 慎  
アインス、 ヴィーラント  
大淵 知直  
奥山 美德  
桑川 麻里生  
香田 芳樹  
佐藤 - プリンツ、 マヌエラ  
佐藤 恵  
シュミット、 ウーテ  
滝藤 早苗  
津崎 正行  
西尾 宇広  
ブッヘンベルゲル、 ステファン  
ベッカー、 アンドレアス

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

まったくの初心者がドイツ語の基礎を学ぶための授業で、春学期、秋学期とも日本人教員による授業週2回と、ドイツ語を母語とする教員の授業週1回の計3回から構成されています。

日本人による週2回の授業は、2名の教員が共通の教科書を使ってリレー方式で進めます。一年間を通じて基本的な文法事項を学びながら、おもに読解と作文の基礎を身につけてもらうことを目標とします。

ネイティブ・スピーカーによる週1回の授業では、具体的な発話状況を想定しながら、主としてスピーキングとリスニングの力を養成

します。つまり、週3回の授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標です。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

学期毎に数回行われる授業内試験および小テストを中心に評価しますが、授業内の課題への取り組みや宿題も適宜評価の材料とします。

テキスト(教科書):

それぞれの教員によって異なるので、学期当初に教科書販売所で確認してください。

参考書:

授業内で適宜紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

初回授業は対面で行います。また、授業はコロナウィルスの感染拡大等がない限り原則としてすべて対面で行います。

外国語の学習に近道はありません。毎回の授業に必ず出席し、新しい知識を着実に身につけることが何より大切です。

ドイツ語は英語に比べると初級段階で覚えるべき文法規則が多いのですが、それらの諸規則は非常に整合的に構築されています。したがって、ひとつひとつ項目をきちんと理解し学習するよう努めれば、非常に明快に理解できるようになりますが、ちょっと気を抜いて分からない箇所をそのままにしておくとなんとなく五里霧中の状態に陥ってしまいます。そうならぬよう、「継続は力なり」を肝に銘じてください。

質問・相談:

授業の前後などに適宜受け付けます。Canvasや授業支援等のメッセージ機能や授業内掲示板を使つての質疑応答にも可能なかぎり対応します。

## ドイツ語 I 中級 / ドイツ語 II 中級

ドイツ語 I 中級 1 単位 (春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位 (秋学期)

Aktiv Deutsch lernen

セット履修

クリーク, ブリギッテ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

Hier koennen Sie Ihre Deutsch-Kenntnisse anwenden und weiter vertiefen. Sie haben viele Moeglichkeiten, Deutsch zu ueben. Sie brauchen jedesmal Ihr Woerterbuch. Aktive Mitarbeit ist notwendig.

Unterrichtssprache ist ueberwiegend einfaches Deutsch. Wir benutzen ein deutsches Lehrbuch "Menschen A1,2".

Einige Unterrichte sind voraussichtlich Online. Der erste Unterricht ist im Klassenzimmer.

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

Hausaufgaben, Mitarbeit, Pruefungen

テキスト(教科書):

S.Evans, A.Pude, F.Specht. (2012). Menschen Kursbuch A1,2 Hueber ISBN 978-3-19-501901-9

参考書:

中島、平尾、朝倉 (1985) 必携ドイツ文法総まとめ、白水社、ISBN 4-560-00433-1

担当教員から履修者へのコメント:

Aktive Mitarbeit und regelmaessiges Lernen ist notwendig.

ドイツ語 I 中級 1 単位 (春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位 (秋学期)

ドイツ語の基礎を学習した方向けに、1年間でドイツ語の文法の基礎～応用まで学習します。基本的な文法から丁寧に確認を行い、ドイツ語の学習内容に不安がある方も安心して受講できるようにします。

池中 愛海  
栗田 くり菜

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

【内容】

- ・ドイツ語の基礎 (あいさつや動詞の人称変化) から丁寧に学んでいきます。
- ・基本的に毎回の授業は、テキストを読む→新しい文法事項の解説→練習問題を解く→会話練習、というサイクルで進みます。
- ・発音練習も丁寧にを行います。ドイツ語の発音をマスターしましょう。
- ・すでにドイツ語を学んだ方が多いと思うので、状況を見ながら基本的な部分については早めのスピードで進む予定です。

【方法】

- ・教科書のLektionごとに文法解説・練習問題、会話練習を行います。
- ・ペアワークや発表学習も行います。
- ・適宜、補足プリントや映像資料、音楽なども使用します。

【到達目標】

- ・基本的な日常表現からスタートし、「読む・書く・聞く・話す」総合的なドイツ語能力の育成を目指します。
- ・ドイツの社会、文化、経済、歴史などに関する多層的な知識の獲得を目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

毎回の授業におけるリアクションシート、発表学習、試験を総合的に勘案します。

テキスト(教科書):

『シュトラッセ・ノイ Ver.3.0』

朝日出版社、新野守広 / 浜崎桂子 / Gesine Goessner / 大村幸太 / 野端聡美 / 杉山香織

2,640円(本体2,400円+税)

ISBN: 978-4-255-25405-0

参考書:

独和辞典 (初回のガイダンスで辞書についてご説明しますので、その説明を聞いてから購入していただいて構いません)

担当教員から履修者へのコメント:

楽しく進めたいと思いますが、そのためには皆さんの予習が必要不可欠です。グループワークや発表学習なども予定しています。積極的な授業参加を期待します。また、毎回必ず辞書を持ってきてください。

質問・相談:

毎回の授業前後、及びメールで。お気軽に質問ください。

ドイツ語 I 中級 1 単位 (春学期)

ドイツ語 II 中級 1 単位 (秋学期)

ドイツ語読解力&聴解力トレーニング

セット履修

津崎 正行

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、ドイツの文化、歴史、社会などについての文章を読みながら、ドイツ語の文章を正確に読むために必要な文法事項を学びます。初級までに学んだことを復習しながら、初級ではかならずしも学ばなかった文法事項も習得することを目指します。また、授業中に取り上げた文章と関連する映画をいくつか紹介し、日本語の字幕がなくても、おおよその内容を聞き取り、理解することができるように練習します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

各学期の最終回に行う期末試験 (50%) と平常点 (50%) によって、総合的に評価します。なお、平常点とは、いわゆる「出席点」を意味するものではなく、毎回の授業での発言および課題に対して与えられた点数を合計したものをいいます。したがって、十分に予習をしたうえで出席することが、単位を取得するための、もっとも確実な手段となります。

テキスト(教科書):

和泉雅人他『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化8章 プラス・エクストラ』三修社、2022年、ISBN: 978-4-384-13103-1 C1084

参考書:

必要に応じて、授業中に紹介します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業はそのつど、参加者がどこまで理解できているかを確認しながら進めてゆきますので、事前に指定された範囲の予習をしておいてください。なお、履修者の人数や希望、およびこれまでの学習状況などに応じて、授業の内容と進度をある程度変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

質問・相談:

授業中に解決できなかった疑問点については、授業の前後でも、メールでもかまいませんので、ご都合のよい方法で質問してください。

## ドイツ語 I 上級 / ドイツ語 II 上級

ドイツ語 I 上級 1 単位 (春学期)

ドイツ語 II 上級 1 単位 (秋学期)

ドイツ語 I / II 上級 (A)

セット履修

山田 史子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は、基礎文法を習得済みで、まとまった分量のドイツ語の文章を読む意欲のある学生を対象にしています。授業では、近現代の短編小説、あるいは長編小説の一部の読解を行います。複雑で長い文章や難解な文法を含む文章に対しては、必要に応じて、文法的説明や文法練習も取り入れます。なお、読むテキストは、学習者との相談の上決めます。詳細に読み込んで読解する力をつけると同時に、ある程度のスピード感を伴って読み進めることによって、作品そのものを鑑賞することを目指します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への参加、授業内課題及び宿題の提出とそれらの達成度、授業内試験により総合的に判断します。

**テキスト(教科書):**

学習者との相談の上決定します。必ず、第一回目の授業に出席してください。

読解テキストは配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業のためにテキストの予習を自分なりにある程度はしてくるようになしてください。

**質問・相談:**

授業の前後に随時受け付けています。また大学の授業支援システムの中の授業内メッセージや掲示板でも受け付けます。

**ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)****ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)**

Deutsch für Fortgeschrittene

セット履修 ブッヘンベルゲル, ステファン

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

ドイツ語の実践的な運用能力、異文化コミュニケーション能力、国際社会に通用する専門的知識と幅広い教養、協調的な態度を総合的に修得することができること。ドイツ語の基本的な表現を復習しながら、会話表現をさらに深めることを学習目的とする。ドイツ文化の知識を育てて異文化の意識を深める。昨年勉強したドイツ語から、語彙力を拡大する練習を行いつつ、ビデオ教材なども取り入れながら、自由会話を中心にドイツ語の勉強を進める。目的:自分のことについて会話できる。

概ね欧州言語共通枠組A2の水準を目安とし、ドイツ語技能検定試験3級やStart Deutsch 2等の受験のための指導を併せ行う。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

春学期:確認のテストと試験を行う。割合は、試験50%、平常点(レポート、連携)50%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

秋学期:プレゼンテーションを行う。割合は、プレゼンテーション70%、平常点(レポート、連携)30%程度とする。講義を4回以上欠席した者は評価の対象としない。

**担当教員から履修者へのコメント:**

クラスの正確なレベルが決定された後、スケジュールはそれに応じて適応される。Zu Beginn des Unterrichts werden die Deutschkenntnisse der Teilnehmenden festgestellt und der Unterricht bei Bedarf entsprechend angepasst.

**ドイツ語 I 上級 1 単位(春学期)****ドイツ語 II 上級 1 単位(秋学期)**

Eine kleine Deutschlandreise

セット履修 アインス, ヴィーラント

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

In diesem Kurs sprechen wir über unterschiedliche Themenbereiche, die aus der Perspektive von Deutschlernenden im Ausland von Interesse sein könnten. Wir benutzen unterschiedlichste Materialien (Audio, Video, Text, Internet), die Grundlage für die Unterrichtsgespräche sein sollen. In den Unterrichtsgesprächen zu Themen unterschiedlicher Komplexität soll der Wortschatz, der Ausdruck und Ihr Wissen über deutschsprachige Länder erweitert werden. Wo es geht, werden wir authentische Gespräche in Alltagssituationen simulieren. Ob Grammatik, Aussprache Themen sein werden, hängt von den Bedürfnissen der Teilnehmenden ab.

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

Es ist zu erwarten, dass die Teilnehmenden unterschiedliche Voraussetzungen mitbringen. Im Grundsatz wird daher nicht der Leistungsstand am Ende der Semester bewertet, sondern die Mitarbeit und der Fortschritt im Kurs. Zur Mitarbeit gehört auch die regelmäßige Teilnahme sowie Vorbereitung auf den Unterricht. Am Ende beider Semester wird es Aufgaben (Diskussionen oder Präsentationen) geben, die bewertet werden.

**テキスト(教科書):**

Sie erhalten die Lernmaterialien im Kurs (kein Lehrbuch)

**参考書:**

Bei Bedarf stelle ich den Teilnehmenden weitergehende Materialien im Lauf des Kurses vor.

**担当教員から履修者へのコメント:**

Dieser Seminarplan ist vorläufig. Er basiert auf der Annahme, dass das wichtigste Ziel der Teilnehmenden die Verbesserung des mündlichen Ausdrucks ist. Wenn andere Ziele im Vordergrund stehen oder einige der Themen zu schwierig sind, werden wir den Seminarplan anpassen. Wir besprechen das in der ersten Sitzung.

In jedem Fall wird erwartet, dass Teilnehmende vorbereitet zum Unterricht erscheinen, selbst wenn es keine expliziten Hausaufgaben gibt (Wiederholung der Inhalte der letzten Stunde oder Vorbereitung auf die Inhalte des nächsten Unterrichts). Gelegentlich werde ich Ihnen Arbeitsblätter geben, die auf Probleme eingehen, die wir im Unterricht finden. Normalerweise werde ich Sie bitten, mir die Lösung per Email zu schicken, damit ich Ihnen auch schriftliches Feedback geben kann. Bitte rechnen Sie mit etwa 30 Minuten Vor- oder Nachbereitungszeit für jeden Unterricht.

In beiden Semestern wird es zudem Präsentationen oder Gruppengespräche geben, die bewertet werden und mehr Zeit zur Vorbereitung brauchen. Bitte geben Sie sich hier viel Mühe; sie werden Ihnen helfen, Ihre Präsentations- und Diskussionsfertigkeiten zu verbessern. Beides wird Ihnen helfen, andere Kurse mit Erfolg zu bestehen.

**質問・相談:**

Fragen oder Kommentare sind jederzeit per Email oder nach dem Kurs willkommen. Die Emailadresse erhalten die Teilnehmenden in der ersten Sitzung.

**ドイツ語会話初級 I 1 単位(春学期)**

ドイツ語初級会話

アインス, ヴィーラント

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

ドイツ語初心者のためのコースです。簡単な日常の状況で会話ができる簡単なドイツ語の文型、語彙について学びます。英語と似ていることから英語の文法、語彙の知識を用います。毎回の授業で、正しい発音と聞き取りも身につけます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業中の積極的な参加、宿題。学期末の口頭試験(短いプレゼンテーションとQ&A)

**テキスト(教科書):**

「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースを使用:ドイツ国営放送局による無料教材です。こちらではニコというスペイン人の若い学生がドイツに来て、生活を始めていくという話です。この短いエピソードを使い、聴解、読解を練習します。私からは毎回のエピソードに関する資料を配ります。この資料を使い、授業ではエピソードで紹介された文型、語彙、知識を用いながら、他の状況にも使える練習をします。

**参考書:**

授業には念のため辞書と初級文法の本をご用意ください。他のクラスでもドイツ語を履修されている場合はそちらで使用している本を参考にしてください。もし他にドイツ語を履修されていない場合は初回の授業で私にご相談ください。

**担当教員から履修者へのコメント:**

このシラバスは他のドイツ語の授業を履修されている方が小さいグループで会話練習するために参加されることを想定して書かれたものです。しかしそれ以外の方でももちろん履修可能です。従って、文法の練習をする時間も想定されます。いずれにしても会話練習が中心となります。

どちらの場合も確実に語彙や表現を理解し、慣れるために、指定された「Nicos Weg」のエピソードを授業の前に見ておいてください。

前回の授業で配られた資料の文型、語彙を授業の前に復習しておくことが必要な場合もあります。

授業内で皆さんが難しいと思った点や問題点も課題として出すこともあります:これらは添削し、お返しします。

課題がない場合、授業前の準備は30分程度で十分です。(指定されたエピソードを見て、単語、表現をチェックするなど)

**質問・相談:**

質問はメールでも授業後でもお気軽にどうぞ。メールアドレスは授業内でお知らせします。

---

**ドイツ語会話初級Ⅱ 1単位(秋学期)**

ドイツ語初級会話Ⅱ

アインス, ヴィーラント

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

この授業は既にドイツ語の基礎について勉強した方のコースで、春学期のドイツ語会話初級Ⅰに続くコースです。基本的なドイツ語の文型で会話することを目標とします。簡単な文型、語彙を用い、会話をよりスムーズに進めることを目標としています。発音、聴解にも重点を置いています。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照**成績評価方法:**

授業中の積極的な参加、宿題。学期末の口頭試験（グループで話し合い）

**テキスト(教科書):**

「Deutsche Welle」から無料提供されているオンライン語学コースを使用：ドイツ国営放送局による無料教材です。こちらではニコというスペイン人の若い学生がドイツに来て、生活を始めていくという話です。この短いエピソードを使い、聴解、読解を練習します。私からは毎回のエピソードに関する資料を配ります。この資料を使い、授業ではエピソードで紹介された文型、語彙、知識を用いながら、他の状況にも使える練習をします。

**参考書:**

授業には念のため辞書と初級文法の本をご用意ください。他のクラスでもドイツ語を履修されている場合はそちらで使用している本を参考にしてください。もし他にドイツ語を履修されていない場合は初回の授業で私にご相談ください。

**担当教員から履修者へのコメント:**

このシラバスは他のドイツ語の授業を履修されている方が小さいグループで会話練習するために参加されることを想定して書かれたものです。しかしそれ以外の方でももちろん履修可能です。従って、文法の練習をする時間も想定されます。いずれにしても会話練習が中心となります。

どちらの場合も確実に語彙や表現を理解し、慣れるために、指定された「Nicos Weg」のエピソードを授業の前に見ておくことをお勧めします。

前回の授業で配られた資料の文型、語彙を授業の前に復習しておくことが必要な場合もあります。

授業内で皆さんが難しいと思った点や問題点も課題として出すこともあります：これらは添削し、お返しします。

課題がない場合、授業前の準備は30分程度で十分です。(指定されたエピソードを見て、単語、表現をチェックする)

**質問・相談:**

質問はメールでも授業後でもお気軽にどうぞ。メールアドレスは授業内でお知らせします。

## フランス語

### なぜ英語以外の外国語を学ぶのか

観光旅行からビジネスや学術交流まで、英語が世界の共通語になっているのは紛れもない事実です。それゆえ外国語は英語だけで十分である、と思われるかもしれませんが。

それでも大学であえて英語以外の外国語を学ぶ、ということにどのような意義があるのでしょうか。少なくとも3つの理由をあげることができます。

まず、実用的な理由があります。「英語は世界の共通語」という言い方は厳密には正しくありません。世界には英語が通じない国と地域がたくさんあります。概ね英語が通じる国や地域であっても、英語を話さない人も存在します。そのような土地に何らかの理由で赴くことになった場合、意思疎通のために現地の言葉、たとえばフランス語の運用が必要になるのは当然のことです。

次に教育的理由があげられます。一つの言語を学ぶことは、一つの世界観、価値観、世界認識の方法、文化を学ぶことです。日本の価値観や文化が世界で唯一のものではありません。英語による世界認識が普遍的なものでもありません。文学部の教育理念の根幹には、価値観や文化の多様性を尊重するという考え方があります。それを実践する最も重要な手段が外国語なのです。

第三に学問的理由があります。文学部では2年次以降、特定の専攻に所属して専門科目を履修します。その際に、世界各国の多種多様な文献資料に直接的に触れるためには当該言語の習得が必須となります。日本語や英語に翻訳されているものもあるかもしれませんが、翻訳を通じた理解に限界があることは言うまでもありません。

### なぜフランス語を学ぶのか

「コミュニケーション」の観点から言うと、フランス語は世界における主要な言語の一つです。フランスという国を離れても、フランス語を公的な言語とする国や地域すなわち「フランス語圏」は世界的な広がりを示しています。また、フランス語を公用語とする国際機関は国際連合を筆頭に、万国郵便連合、世界貿易機関、国際労働機関、国際司法裁判所、赤十字国際委員会、国際オリンピック委員会、国際サッカー連盟など、多数あります。

学問的な面では、フランス語で書き残された文化遺産は膨大で、特に文学や哲学、歴史学、美術史などのいわゆる人文学の分野での蓄積には圧倒されます。フランス語を習得し、そのような果てしなく魅力的な世界をぜひ冒険してみてください。

### 文学部のフランス語の特徴

文学部1年次のフランス語の授業は、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4つの能力を総合的に高めるように構想されています。「聞く」ことについては、身近な領域（自分や家族、大学生活、買い物、娯楽、趣味、旅行など）でよく用いられる文や表現を理解できることを目指します。「話す」ことと「書く」ことでは、そのような領域の事柄を簡単な表現で説明できるようになりましょう。そして「読む」こと目標は、高度な内容をもった様々な種類の長い文章を正確に理解できるレベルです。「読む」こと目標を相対的に高く設定している点が文学部のフランス語の特徴ですが、これは履修者が将来的に専攻に所属し、学問上の専門的な文献を読みこなす可能性を見越してのことです。

### フランス語学習のコツ

外国語の学習は知的な活動であると同時に、あるいはそれ以上に、身体的な実践です。上達のコツは、スポーツや音楽と同じように、基本的な動作を繰り返すことです。教科書に添付されているCDを聞く、文章を声に出して読む、単語の綴りを書く、という作業を何度も繰り返してください。辞書も、電子辞書よりも紙の辞書を引く方が、大きな身体的動作を伴うため記憶の定着が高まると言われています。

また、このような練習を授業中はもちろんのこと、自宅で繰り返し行うことが大切です。テニススクールに通っている人が、スクールの限られた時間だけ練習していたのでは実力は伸びません。ピアノのレッスンを受けている人が、レッスンの間だけしかピアノに触れないとすると、上達は望めないでしょう。フランス語の授業は、90分の授業が週3回、年間で30週ですので、最大でも合計135時間しかありません。たった135時間でできることは限られています。ぜひとも授業以外の時間も有効に利用してください。

## フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ

フランス語Ⅰ 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 1単位(秋学期)

フランス語「初級」

芦野 文武  
西野 絢子  
伊東 イザベル  
井上 櫻子  
上杉 誠  
大寫 健太郎  
佐藤 太郎  
設楽 聡子  
シュドル, フローレンス容子  
関 幸太郎  
ソヴグラン シルヴァン  
竹中 公二  
西部 由里子  
西脇 沙織  
能登 省二  
ブランクール, ヴァンサン  
ベルナル・ミルティル, ロランス  
前島 アンヌ・マリー  
真部 清孝  
森 千夏

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語に初めて接する人が基礎を学ぶ授業です。読む・書く・聞く・話す能力をまんべんなく身につけることが目標です。

「フランス語Ⅰ」は春学期の授業、「フランス語Ⅱ」は秋学期の授業です。それぞれ週3回ずつおこなわれます(曜日はクラスによって異なります)。3つの授業は時間割表の上では(A)(B)(C)の記号で区別されます。この3つを「初級」のコースとして履修します。

(A)(B)は文法的な理解と読解力の養成を目的とする授業です。教科書『マ・グラメール』を使用します。

(C)は発話や聞き取りに重点をおいた授業です。教科書『Intro』を使用し、フランス語を母語とする教員が担当します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」は「セット履修」の科目です。成績評価は年度末に1年間の学習成果全体に対しておこなわれます。「フランス語Ⅰ」が終了した時点で春学期の成績が判定されることはありませんし、通知されることもありません。

成績評価のポイントは以下の通りです。

・平常点: 各授業の出席状況と授業態度。それに加えて(C)の授業では、各学期に数回、授業中に口頭試験およびディクテ(書き取り)試験を実施し、平常点に換算します。

・小テスト: 20分程度のテストを各学期3回、ほぼ1ヶ月に1回のペースで授業中に実施します。各テストは原則として20点満点。10月初めに実施予定の第4回のみ40点満点。

・期末試験: 各学期末の試験期間中に一斉に実施します。春学期50点満点、秋学期100点満点。

(注) 小テストも期末試験も、対象とするのは(A)(B)(C)の3つの授業の内容です。

成績は、全クラス共通の客観的かつ公平な基準を設定し、全ての教員が協議して判定します。年度末に送付される成績表では以下の3つの評価が記載されます。

・(A)(B)(C)の授業の平常点(口頭試験の結果も含む)による成績。

・小テストの合計点(140点満点)による成績。

・期末試験の合計点(150点満点)による成績。

(注1) 平常点、小テスト、期末試験は相互に独立した評価方法です。したがって、たとえば小テストの成績を平常点で補ったり、期末試験の成績を小テストの成績で補ったりすることはできません。

(注2) フランス語の成績評価システムでは、履修者が進級に必要な単位の一部だけを意図的に放棄することができないようになっています。

ます。たとえば、履修者が小テストを放棄したとみなされる場合、小テストによる成績はもちろんのこと、平常点による成績も減点されます。その結果、進級に必要な単位を満たすことができなくなる可能性があるので注意してください。

テキスト(教科書):

教科書(A)(B): 『マ・グラメール』(白水社) ISBN: 978-4-560-06126-8

教科書(C): 『Interactions 1』(CLE International) ISBN: 978-209-038697-4

参考書:

【文法参考書】

森本英夫、三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

森本英夫、三野博司『ブチット・リュミエール フランス文法参考書』(駿河台出版社)

目黒士門『現代フランス広文典』(白水社)

【独習用文法教材】

教江譲治『フランス語のABC』(白水社)

【文法練習問題】

斎藤昌三著『フランス語トレーニング・コース』(白水社)

西村牧夫『解説がくわしいフランス文法問題集』(白水社)

【作文】

山田博志(他)『1からはじめるフランス語作文』(白水社)

藤田裕二(他)『言いたいことが言える 書きたいことが書ける フランス語の作文』(三修社)

【辞書】

『ディコ仏和辞典』(白水社)

『クラウン仏和辞典』(三省堂)

『ブチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)

『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)

『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)

質問・相談:

・授業内容に関する質問 → 各授業の担当者

・学事上の問題や生活面の相談 → 各クラスの担任

## フランス語Ⅰ 中級／フランス語Ⅱ 中級

フランス語のカリキュラムには中級コースが準備されています。対象となるのは中学や高校で1～2年程度フランス語を学習した人です。このコースは「中級」の授業(週1コマ)と初習者向けの(B)と(C)の授業(それぞれ週1コマ)で構成されています。

フランス語Ⅰ 中級 1単位(春学期)

フランス語Ⅱ 中級 1単位(秋学期)

セット履修

設楽 聡子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中学や高校などで1～2年程度フランス語の学習経験がある人たちを対象として、初習者向けのクラスよりも早いペースで初級文法の説明を進めていきます。使用する文法教科書は初習者向けのクラスと同じです。それ以外の教材を用いて練習問題や講義もおこなうこともあります。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の成績評価方法に準じます。

テキスト(教科書):

初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」で使用される教科書(A)(B)と同じです。

担当教員から履修者へのコメント:

この授業以外に、初習者向け「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」の(B)(C)を履修してください。4月のガイダンス時に、既習者全員を対象としたレヴェルチェックを実施して、各自の所属クラスを決定します。

## フランス語 I 上級 / フランス語 II 上級

フランス語のカリキュラムには上級コースも設けられています。十分なフランス語学習歴のある人を対象とします。このコースは以下の3つの授業で構成されています。

フランス語 I 上級 1 単位(春学期)

フランス語 II 上級 1 単位(秋学期)

上級フランス語文法の習得

セット履修

芦野 文武

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

中学・高校で3年以上フランス語を学習した人のための授業です。授業開始前にレベルチェックを行ない、上級クラス認定が出た学生諸君たちが対象です。

外国語としてのフランス語教授法(FLE)に基づいて作成された教科書(全35課)を用い、フランス語の上級文法を会話の中で習得することを目指します。語彙のストックを大幅に増やすことも目標とします。また、教科書にはCDもついていますので、聞き取りの練習としても大いに活用してください。

1回の授業で1課~2課ずつ進む予定です。授業前に、予め該当の課の文法解説を読み、練習問題に取り組んで答え合わせをしておいてください。授業では、文法の補足説明をしたあと、会話部分を丁寧に訳読しつつ、単語・表現の微妙なニュアンスを解説し、追加で覚えるべき事項も示します。一生懸命取り組んでこの教科書をマスターすれば、仏検準1級・1級やDELFのB2-DALFのC1レベルに相当する確かなフランス語力がつくと思いますので意欲的に取り組んでください。前期は18課まで進む予定です。

なお、履修者の希望に応じて追加の教材を取り入れることも考えていますので積極的に提案してください。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

平常点(出席、授業への取り組み)および確認テスト(授業内)を総合して評価します。

**テキスト(教科書):**

Miquel, Claire. (2013). Grammaire en dialogues, Niveau avancé, B2-C1. CLE International. ISBN : 978-2-09-038061-3

**参考書:**

授業中に紹介します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

毎回授業に出席し、しっかり予習・復習をすればフランス語上級文法および語彙のストックを確実に増やせると思いますので意欲的に取り組んでください。また、仏検やDELF・DALFなどの検定試験も積極的に受験してください。

**質問・相談:**

授業中・授業後に受け付けます。

フランス語 I 上級 1 単位(春学期)

フランス語 II 上級 1 単位(秋学期)

フランス語上級

セット履修

シュドル, フローレンス容子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

フランス語の基礎を学んだ人を対象に、フランス語の基本的な能力を高めることが本講義の目的です。指定したテーマでの会話を中心として授業を進めます。

特に自由で開放的な雰囲気の中で授業を進めたいと考えています。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

授業内試験の結果による評価

**テキスト(教科書):**

特に使用しません。必要に応じてコピーを配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

フランス語会話能力およびコミュニケーション能力の向上をはかるためには、失敗を恐れず積極的にフランス語で話すことにトライしてほしいと思います。日常生活のなかでも、フランス語の雑誌や映画などに意識して接するように心がけてください。

フランス語 I 上級 1 単位(春学期)

フランス語 II 上級 1 単位(秋学期)

上級仏作文演習

セット履修

西部 由里子

**授業科目の内容・目的・方法・到達目標:**

中学・高校などで3年以上フランス語を学習してきた既習者のための授業で、「フランス語の表現力を総合的に高める」ことを目標としています。

毎回の授業は、単語テスト、ニュースの聞き取り、語彙力を強化するための問題演習から始まります。その後、グループワーク形式で、漫画やレシピなど日本語で書かれた様々な文章のフランス語訳を考えたり、フランス語でクイズを作るなどの演習をおこない、伝えたい内容を的確に表現するための工夫について考えます。

**授業の計画:** keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

**成績評価方法:**

出席状況、単語テスト、グループワークへの取り組み、提出課題、授業中に行なう試験(各学期2回)などから総合的に評価します。

**テキスト(教科書):**

プリントを配布します。

**担当教員から履修者へのコメント:**

授業はすべて対面で行う予定です。

毎回予習が必要です。また授業には必ず辞書を持参してください。

**質問・相談:**

講義の後や授業内メールで随時受け付けます。

## 中国語

日本と二千年にも及ぶ交流を持つ中国は、いまや単なる隣国であるにとどまらず、世界への大きな影響力を保持する大国としての様相を現しています。中国は、日本人が慣れ親しんだ欧米的なスタンダードとは異なる、新たなスタンダードの構築を目指していると言えるかも知れません。各種メディアで報道される中国の急成長は、ときに感情的な脅威論に傾くこともあります。まだまだ日中両国はお互いのことを十分に理解していないというのが現状です。中国というと反日的なイメージが強調されがちですが、経済ではすでに日中は重要なパートナーとなりつつあります。英語と並んで中国語の研修を必須とする大企業も現れ、今後ますますそうした傾向は強まるでしょう。日中両国の若者が、勇気をもって「相手を知っているつもり」をやめてみると、驚くほど多彩な事柄が見えてくるはずです。中国語の習得は、現代中国の文化的・政治的なコードの存在を実感し、様々な差違を楽しむための大きな一助となり、研究はもとより就職そして実業の世界でも大きな武器となり得ます。その先には、中国のみならず様々な「世界」と向き合う自分なりの姿勢を手に入れる展望も開けてくることでしょう。

中国語は漢字によって表記されます。それは日本人が中国語を学ぶ際の大きな利点です。しかし実は、中国（大陸）では「簡体字」と呼ばれる簡略化された漢字が用いられています。また台湾や香港では「繁体字」と呼ばれる画数の多い漢字が用いられており、いずれもわたしたちが日本語で使う漢字とは異なっています。そしてなにより、中国語の漢字の発音は日本語とは全く異なります。知っているようで、知らないことも多い、という中国語に対する感覚は、まさしく日中両国の間柄とも似通っているようです。

古来、日本は中国の文化から多くを学びました。複雑な歴史的背景のもと、現在は双方向的な関係を結ぶべき時期にきています。飛行機に乗ればわずか3時間程度、容易に往来できるのは隣国の利点です。日中間で多くの企業や留学生が往来し、そして多くの中国の若者は、日本のドラマやアニメなどのポップカルチャーを愛好しています。共有してきた文化を知る喜びと、近くて遠い異質の感覚に触れる楽しみ、その両方の可能性を中国語の学習は皆さんに与えてくれることでしょう。

中国は多民族国家ですが、中国籍を持つ人は14億人にも及びます。これは世界の総人口のおよそ5分の1にあたります。「你好！ Nǐhǎo！」（こんにちは！）からはじまる一言ずつが、皆さんにとって世界への窓口を大きく開くスキルになることと思います。

なお、既習者は以下の説明を参照してください。初級と中級、或いは中級と上級のどちらで学べばよいか分からない人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

### 【中級クラス】

1～2年程度の中国語学習歴がある人が対象です。具体的には、高等学校で中国語を履修した人、中国語検定で4級を取得した人などです。中国語の既習者で、初級と中級のどちらで学べばよいか判断に迷う人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

### 【上級クラス】

一般入試で中国語を受験した人、およびこれに準ずる中国語能力のある人が対象です。検定レベルでいうと、中国語検定2級、HSK5級相当以上です。上級レベルでよいかどうかの判断に迷う人は、語学別ガイダンス時に教員と相談のうえ、クラスを決めることができます。

上級科目のシラバス・時間割については、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」に記載されている科目名「中国語表現技法1～4」の内容を確認してください。詳細は語学別ガイダンスで説明いたしますので、外国語教育研究センターの「履修案内・講義要綱」を必ず持参してください。

## 中国語 I / 中国語 II 初級

中国語 I 1 単位(春学期)

中国語 II 1 単位(秋学期)

浅野 雅樹  
植松 公彦  
柴 森  
佐高 春音  
周 媛  
須山 哲治  
福田 文彬  
松川 育代  
松倉 梨恵  
容 文育  
吉永 壮介  
李 晶

セット履修

### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

中国語の初学者を対象とする授業です。発音の習得、聴き取り、初級文法と語彙の習得をめざします。授業は統一教材を用いて行い、日本人教員2名とネイティブ教員1名による週3コマで進行します。日本人教員の授業時では、主に文法と基本的な会話を学習し、ネイティブ教員の授業では、聴き取りや発音・会話を重点的に練習します。なお、ネイティブ教員は中国語のみを使って授業をします。

学習の到達目標は以下の通りです。

- ①ピンイン表記(ローマ字による中国語の発音表記)を習得し、それに基づいて正確な発音ができる。
- ②中国語を聴いて正確にピンインと簡体字で書き取ることが出来る。
- ③初級文法を習得し、簡単な会話がスムーズにできる。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

### 成績評価方法:

統一試験、各クラスでの試験、発音試験、出席・小テストによる平常点をベースにして、全担当教員による成績会議で決定します。全クラスで行う試験は以下の通りです。

<春学期>

#### 【発音試験】

ネイティブ教員クラス (6月・授業時間内)

#### 【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

<秋学期>

#### 【中間試験】

ネイティブ教員クラス (三田祭前後・授業時間内)

全クラス統一試験 (三田祭前後)

#### 【学期末試験】

ネイティブ教員クラス (授業時間内)

日本人教員クラス (授業時間内・聞き取り試験)

全クラス統一試験 (試験期間中・筆記試験)

### テキスト(教科書):

各自、下記を生協を通して購入して、初回の授業に臨んでください。全クラス共通テキスト:

『【初級テキスト】中国語のススメ』白帝社 2022年 ISBN: 9784863984479

### 参考書:

<辞書> ガイダンス時に紹介します。

<参考書> 『中国語の入門 [最新版]』山下輝彦著(白水社)

『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 [新訂版]』

相原茂ほか著(同学社)

### 担当教員から履修者へのコメント:

授業形態は「対面教室型」です。授業内容や形態は必要に応じて変更となる可能性があります。出席・平常点を重視します。欠席しないように心がけてください。最初の数週間で集中的に発音練習を行い、その後文法・会話練習に進みます。中国語の発音に慣れるために、繰り返し教科書の音声資料(音声ダウンロード方式)で練習してください。春学期においては特に復習に力を入れること。

### 質問・相談:

メールなど、各担当者からの指示に従ってください。

## 中国語 I / 中国語 II 中級

中国語 I 中級 1 単位(春学期)

中国語 II 中級 1 単位(秋学期)

杉野 元子  
松川 育代  
劉 湯水

セット履修

### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業は初級中国語を1年程度勉強した学生に向けたものです。日本人教員2名は、中国語初級文法の確認と発展、語彙の拡大、読解力の向上を目指す授業を展開します。ネイティブ教員は極力中国語を使って授業を行い、実践的に中国語のリスニングとスピーキングの力を鍛えていきます。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

### 成績評価方法:

出席状況、授業態度、課題・レポート、授業内試験の結果をもとにして判断します。

### テキスト(教科書):

開講時に指定。

### 参考書:

相原茂ほか著『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 新訂版』(同学社)

### 担当教員から履修者へのコメント:

・遅刻・欠席はしないように心がけてください。

・毎回、予習・復習を十分にを行い授業に臨んでください。

・授業形態は次の通りです。

杉野: 授業は対面とオンライン(オンデマンド形式)を隔週で実施します。

松川: 授業は対面実施を基本とします。

劉: 授業は対面実施を基本とします。

なお3人の教員全員、初回授業は対面です。

### 質問・相談:

授業終了後、またはメールで受け付けます。



## 韓国語

### 韓国語Ⅰ 1単位(春学期)

### 韓国語Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語の入門から初級まで

金 柄徹  
李 瓊  
李 泰文

セット履修

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語の入門(文字、発音、あいさつのことば)、基礎(簡単な日常会話)、初級(旅行、買い物、掲示板的理解などに役立つもの)の段階を踏んで学んでいきます。一週間に三回の授業は、講師は代わっても、同一教材を用いて進めます。各課ごとに小テストをし、達成度をはかります。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

出席率、課題、小テストにより評価します。

#### テキスト(教科書):

金孝珍(北原スマ子監修)『即!実践 楽しもう韓国語』白帝社、最新版。

ISBN: 978-4-86398-277-2

#### 担当教員から履修者へのコメント:

1. 受講者の習熟度に対応し授業のスケジュールや進み具合を変更することがあります。
2. 韓国語は日本人にとって、他の外国語よりは取り組みやすい言語だといわれています。しかし、目標をどこに設定するかによって難易度は随分変わってきます。ハングルが何とか読める程度で満足することなく、韓国の社会や文化の中にもひとりであってほしいという目標を持って学習に取り組んでほしいです。

#### 質問・相談:

随時可能。

### 韓国語既習Ⅰ 1単位(春学期)

韓国語上級 한국어 상급

金 柄徹

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。日常的な場면을テーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル(より複雑な表現)についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

출석, 수업에의 기여도, 과제, 시험 등으로 평가합니다.

#### テキスト(教科書):

특정 교과서는 사용하지 않습니다.

#### 参考書:

필요에 따라 교재를 수업시간에 배부합니다.

#### 質問・相談:

언제든지 가능.

### 韓国語既習Ⅱ 1単位(秋学期)

韓国語上級 한국어 상급

金 柄徹

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

韓国語をすでに学んだことのある人を対象にしています。日常的な場면을テーマに学習することで、状況に応じた表現方法を習得するとともに、韓国人の会話スタイル(より複雑な表現)についても理解を深めていくことを目指します。その他に、映画・新聞・文学作品などを素材に、韓国語だけでなく韓国の文化や社会事情に対する理解も高めていきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

출석, 수업에의 기여도, 과제, 시험 등으로 평가합니다.

#### テキスト(教科書):

특정 교과서는 사용하지 않습니다.

#### 参考書:

필요에 따라 교재를 수업시간에 배부합니다.

#### 質問・相談:

언제든지 가능.



## スペイン語

スペイン語Ⅰ 1単位(春学期)

スペイン語Ⅱ 1単位(秋学期)

スペイン語の基礎と発展

金子 奈美  
安藤 万奈

コルメナ ロメロ, ロベルト  
サンチェスバレーラ, マルタ  
ペラル ヒガンテ, アルバロ  
諸星 妙

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

春学期

スペイン語文法の基本を学びつつ、挨拶や自己紹介など、初歩的な日常会話をスムーズに行えるような練習をします。四技能をバランスよく身につけ、簡単な読み書きもできるようにするのが目標です。

秋学期

春学期に引き続いてスペイン語文法を学習し、直説法の時制をすべて学びます(接続法は2年次に学習します)。また、平易なスペイン語テキストの内容を理解できるだけの読解力や、身の回りの出来事や事物について述べるのできる会話・作文能力を身につけることも目標です。

スペイン語圏の国々の文化も折に触れて紹介します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業内試験(各学期に数回行う小テスト、期末試験)、課題、平常点をもとに、担当者全員による合議の上で決定します。

テキスト(教科書):

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語』朝日出版社、2019年 ISBN: 978-4-255-55102-9

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2』朝日出版社、2022年 ISBN: 978-4-255-55132-6

参考書:

辞書については、最初は電子辞書ではなく、紙媒体のものが望ましいです。以下のものをお勧めします。

西和辞典:

『現代スペイン語辞典』(白水社)

『西和中辞典』(小学館)

『クラウン西和辞典』(三省堂)

『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

和西辞典:

『和西辞典』(白水社)

『クラウン和西辞典』(三省堂)

『和西辞典』(小学館)

担当教員から履修者へのコメント:

基本的に『イメージ・スペイン語』を使って進め、復習の際に『イメージ・スペイン語2』を併用します。教科書は2年次も引き続き使用しますので、2冊ともセット購入しておいてください。

語学の習得のためには、いわゆる「一夜漬け」ではなく、コンスタントに努力を積み重ねることが大切です。たとえば毎日、予習と復習を30分行なうなど、習慣づけましょう。1年生で基礎を固めたあと、2年生の授業では、スペイン語での簡単なプレゼンテーションや、スペイン語圏の社会・歴史・文化などに関するテキストの読解に挑戦します。

授業は対面で行ないます。

## ロシア語

ロシア語Ⅰ 1単位(春学期)

ロシア語Ⅱ 1単位(秋学期)

ロシア語の基礎

越野 剛

セット履修

ノビコバ, ナターリア

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

アルファベット、発音から始めて、ロシア語の基本的な文法項目および表現を総合的に学習します。一年間でロシア語の読解力を養成する授業です。ロシア語の構文をしっかり把握して正しく理解・応用できるようになることを目標とします。また、ネイティブ教員の担当回では、文法項目の学習度合いに応じて、ロシア語の応用的な表現を練習します。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業への積極的な参加(平常点)、課題の提出、小テスト、期末試験などを総合的に評価します。

テキスト(教科書):

『ロシア語をはじめよう』西中村浩・朝妻恵里子著 朝日出版社 2017年

そのほか、ロシア語やロシア文化を学ぶのみ役立つような資料を適宜用意します。

参考書:

『博友社ロシア語辞典』

担当教員から履修者へのコメント:

外国語は暗記しなくてはいけない文法事項が多くてたいへんですが、言葉を習得することで見えてくる世界の広がりや苦勞するだけの価値のあるものです。もっと勉強がしたくなるような、ロシア語の世界の魅力が伝わるよう努めます。予習・復習など、授業外での一定の学習時間が必要になることは覚悟してください。

ロシア語はロシア連邦だけでなく、旧ソ連の国であった国々や、イスラエル、ドイツやアメリカなどで多くの人に使われています。さらにロシア語は国際連合の公用語であり、多くの人が学習しています。皆さんも一緒に挑戦してみましょ。

質問・相談:

授業中でも分からないことがあれば積極的に質問してください。授業時間前後にも質問に対応します。

メールなどでの問い合わせも随時受け付けます。

# イタリア語

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語基礎文法《必修》

藤谷 道夫  
長谷川 悠里  
古田 耕史  
森田 華奈子

セット履修

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

《春学期:イタリア語Ⅰ》月曜日(長谷川)・火曜日(長谷川・藤谷)  
水曜日(森田・古田)

音楽や視覚教材などを併用しながら、初歩的なイタリア語の文法を解説します。レヴェル的には、イタリア語検定5級程度が習得できるよう指導していきます。また、イタリア語の学習を通して様々なイタリアの文化や考え方を学びます。学生の興味や要望に合わせて、映画、音楽、絵画、食文化等にも積極的に触れて、イタリア語学習をできるだけ楽しいものにしていくつもりです。

《秋学期:イタリア語Ⅱ》

イタリア語Ⅰを受けて、イタリア語文法の初級の残りを解説します。授業の進め方も、イタリア語Ⅰと同じです。折に触れて、イタリアの食生活や日常生活、文化、社会習慣など語学に密接した知識を解説します。レヴェル的には、イタリア語検定4級程度が習得できるよう指導していきます。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

【長谷川・藤谷担当の文法の授業】

- ①授業内の小テストの平均点で全体の評価とする。
- ②小テストを受けるために毎回出席する必要がある。

【森田・古田担当の文法の授業】

- ①出席が試験を受ける資格となる。
- ②各学期に中間試験と学期末試験を行ない、①の評価に加えて、全体の評価とする。

テキスト(教科書):

『イタリア語最初歩』(ナンニーニ・アルダ、藤谷道夫著、三修社)を各自購入して下さい。

『イタリア語練習問題集(慶應義塾大学生用)』(無料配布)

参考書:

須賀敦子『ミラノ霧の風景』(白水社)

『伊和中辞典』(小学館)または『ブリーモ伊和辞典』(白水社)

担当教員から履修者へのコメント:

- ①初級文法は毎回新しい内容を解説するため、出席していないと新しい単元の文法が解らなくなってしまう。しかも、授業内で小テストを毎回行なうため、全出席が原則です。
- ②勉強を進める上で興味や関心が何よりも重要です。このため、学生からの積極的な質問を期待しています。
- ③初級文法では、最初、覚えることばかりで大変ですが、できるだけ楽しく・興味深い授業となるよう教員の方も配慮・努力するつもりです。頑張っけて付いて来て下さい。
- ④火曜日は必修語学の曜日として絶対にアルバイトを入れないようにして下さい。授業が理解できていない学生や病欠などで休んだ学生に対して5限後に補習を行なうためです。

質問・相談:

授業中や授業後に質問をして下さい。それ以外で質問や相談がある場合、火曜日の昼の休憩時間または火曜日5限の終わりに研究室531(来住舎)に気軽に来て下さい。また、授業が十分に理解できていない学生は呼び出して、補習をします(藤谷)。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

マツジャ, フェデリカ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は、日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通して、イタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また、言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T, Magnelli S.著  
Edilingua出版 2008年

ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、分からなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

イタリア語Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語Ⅱ 1単位(秋学期)

Ciao!からイタリアへ

セット履修

レバリアーティ, ガブリエレ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

初めてイタリア語を学ぶ学生のための授業です。この授業は日常生活や旅行など様々なシチュエーションで必要となるコミュニケーション能力を涵養するため、イタリア語での日常会話や語彙を習得することに焦点を当てて進めていきます。授業を通してイタリア文化の文脈に沿った適切な会話表現の習得、また言語の裏に潜むイタリアの文化、思考様式についても文化比較を交えながら、知識を深めていくことを目指します。

授業は、教科書に沿って授業を進めます。春学期は、2課(自己紹介、余暇の過ごし方など・動詞の現在)まで、秋学期は4課(日々の生活、バカンスなど・動詞の近過去)まで進める予定です。

授業の計画:keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

出席、授業への積極的な参加態度、小テスト、期末試験、課題や提出物などを総合的に鑑みて評価します。

テキスト(教科書):

『Nuovo Progetto Italiano 1』Marin T, Magnelli S.著、Edilingua出版、2008年 ISBN: 978-960-6632-24-2

担当教員から履修者へのコメント:

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。恥ずかしがらずに、授業に積極的に参加しましょう。間違いを気にせず、話して下さい。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言いますが、解らなくて聞いても恥でもなんでもありません。いくら間違えても構わないので、どんどん話しましょう。

質問・相談:

- ・授業中はもとより、休憩時間に気軽に何でも質問して下さい。
- ・講義の前後に随時受け付けます。

## イタリア語入門Ⅰ 1単位(春学期)

イタリア語へようこそ!

マッジャ, フェデリカ

### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補充形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしながらか、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

『OPERA PRIMA - Volume 1』 Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ、自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI, 4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリアに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります!イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください!(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でももらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました!イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした!楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした!(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもあまりありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載っていない文法知識についてもプリントや授業で説明してもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます!是非履修してみてください!(YUTO, 2年)

質問・相談:

- ・ 授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・ 講義の前後に随時受け付けます。

## イタリア語入門Ⅱ 1単位(秋学期)

イタリア語へようこそ!

マッジャ, フェデリカ

### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

「イタリア語入門Ⅰ」の続きです。

実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、各会話と文法は同じ内容の相互補充形式です。

「日常生活」「旅行」「文化」などの話題に必要なボキャブラリーや表現を増やしながらか、コミュニケーション能力をつけることを目指します。具体的には、様々なシチュエーションで使える会話表現を習得し、自分のことを自分の言葉で話せるようになることを目標とします。

ビデオ(スキットと文化紹介の映像)、スライドショーなどのマルチメディアを使用して楽しく日常イタリア語を学び、イタリアの文化について知識を深めます。

教科書に沿って授業を進めます。春学期は、3課まで、秋学期は6課まで進む予定です。

この授業はイタリア語を初めて学ぶ学生を対象としていますが、イタリアで生活した経験がある学生、イタリアへの留学を考えてすでにいくらか学習した学生も歓迎します。それぞれの希望に合わせて個別に対応します。

授業の計画: keio.jp の講義要綱・シラバスを参照

成績評価方法:

授業参加、小テスト、期末試験。

テキスト(教科書):

『OPERA PRIMA - Volume 1』 Maggia, Miscio, Quagliari, Spinuso, Zamborlin著

Casa Editrice Asahi 2012年

ISBN: 978-4-255-55308-5

担当教員から履修者へのコメント:

学生からの声

会話中心の授業なので文法の授業で習ったことを実際に試すことができ、自分のイタリア語をブラッシュアップできてよかった。(FUMIYA, 1年)

基本少人数で、自分から積極的に発言しやすい雰囲気があり、受講者みんなが授業に参加できていたと思います。そして基礎的なことから、ちょっとした応用、イタリアのマナーや文化など、実際にイタリア語を使う際に役立つような知識がかなり得られたと思います。楽しかったです。(TSUKANE, 1年)

イタリア語について全く予備知識なしで履修しましたが、先生が優しく、かつ丁寧に教えてくださるので、とても楽しく勉強できます。一度社会に出ると、こうした質の高い語学の授業を受けることはそう簡単にはできないと思います。少しでも興味があればぜひ履修することをおすすめします。(KOSEI, 4年)

イタリアを旅行したいと思い、この授業を取りました。文法を学びながら、日常会話の練習も重点的にできるので、特に実際にイタリ

アに行きたい人におすすめしたいです。また、イタリアの文化についても学ぶことができ、とても楽しい授業です。(NOZOMI, 2年)

少人数の授業であるため、1人1人丁寧に指導していただけます。先生はとても明るく優しい方で、いつも楽しくイタリア語を学べます。教科書に載っているイタリアで有名なカフェに同じクラスの友達と行ったこともあります！イタリアに少しでも興味のある方はぜひ授業をとってみてください！(SAE, 2年)

この授業では、基本的にイタリア語の会話などを中心に学ぶことができます。文学部設置の授業ですが、他学部の人でも履修することができます(僕は経済学部です)。また、僕はイタリア語を今まで全く勉強したことがなかったのですが、先生がとても親切に教えてくれたおかげで、イタリア語を楽しく一から学ぶことができました。また、少人数授業ということもあり、僕が個人的に受験したかったCILSというイタリア主催のイタリア語の試験対策を授業でももらいました。そして、4月から勉強を初めて、12月にCILS A1(CEFR A1)を受験しました！イタリアに少しでも興味があったら、履修するといいと思います。(SHUN, 2年)

先生はいつも優しく1人1人のレベルに合わせて丁寧に指導してくださり、クラスメイトも明るく楽しかったので私はこの授業が大好きでした！楽しみながらイタリア語の力をしっかり伸ばせましたし、CILSという国際的なイタリア語の資格の勉強もできて充実した一年でした！(KANA, 2年)

私はこの春からイタリア語を学び始めました。それまでイタリア語に関する知識は全くなく、授業以外でイタリア語を勉強することもありませんでしたが、話すことを中心としたこの授業のおかげで基本的な会話を交わすことができるようになりました。また、教科書には載ってない文法知識についてもプリントや授業で説明してもらえるので、体系だった文法の学習も可能です。そして何より明るく生徒思いな先生のおかげで、授業の自由度が高く、生徒の要望に合った学習を行えるので、楽しくイタリア語を学習できます！是非履修してみてください！(YUTO, 2年)

#### 質問・相談:

- ・ 授業時間の折に担当教員になんでも質問してください。
- ・ 講義の前後に随時受け付けます。

## ギリシア語

### 古典ギリシア語初級 I 1単位(春学期)

吉川 斉

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、いわゆる「古典ギリシア語」の入門的文法知識の習得、平易な文の発音・読解を行う力を身につけることを目的とします。“It's Greek to me.”と言われるギリシア語であり、なかなか簡単な対象ではありませんが、本授業では、指定の教科書に沿って、アルファベットの学習から始め、受講される皆さんの習熟度に合わせて授業を進めつつ、古典ギリシア語への理解を深めます。

**授業の計画:**keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

授業への参加状況、課題への取り組み、学期末のテストを合わせて総合的に評価します。

#### テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 978400008297 C0087

#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業ごとの練習課題の解説は、次の授業時に行います。

#### 質問・相談:

メールで質問・相談を受け付けます。(メールアドレスは授業時に案内します。)

### 古典ギリシア語初級 II 1単位(秋学期)

吉川 斉

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、いわゆる「古典ギリシア語」の入門的文法知識の習得、平易な文の発音・読解を行う力を身につけることを目的とします。春学期に引き続き、受講される皆さんの習熟度に合わせて授業を進めていきます。

**授業の計画:**keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

授業への参加状況、課題への取り組み、学期末のテストを合わせて総合的に評価します。

#### テキスト(教科書):

『古典ギリシア語初歩』水谷智洋著 岩波書店 1990年 ISBN: 9784000008297 C0087

#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業ごとの練習課題の解説は、次の授業時に行います。

春学期からの継続した受講をおすすめします。

#### 質問・相談:

メールで質問・相談を受け付けます。(メールアドレスは授業時に案内します。)

## ラテン語

### ラテン語初級 I 1単位(春学期)

吉川 斉

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、いわゆる「古典ラテン語」の入門的文法知識の習得、平易なラテン語文の発音・読解を行う力を身につけることを目的とします。ラテン語は、とくに学問世界の共通言語として、近代まで広く用いられた言語です。本授業では、指定の教科書を用いて、受講される皆さんの習熟度に合わせつつ授業を進め、ラテン語への理解を深めます。

**授業の計画:**keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

授業への参加状況、課題への取り組み、学期末のテストを合わせて総合的に評価します。

#### テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN: 9784560017616

#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業ごとの練習課題の解説は、次の授業時に行います。

#### 質問・相談:

メールで質問・相談を受け付けます。(メールアドレスは授業時に案内します。)

### ラテン語初級 II 1単位(秋学期)

吉川 斉

#### 授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

本授業は、いわゆる「古典ラテン語」の入門的文法知識の習得、平易なラテン語文の発音・読解を行う力を身につけることを目的とします。春学期に引き続き、受講される皆さんの習熟度に合わせて授業を進めていきます。教科書をひととおり終えたあとは、易しめなラテン語原典に挑戦してみます。

**授業の計画:**keio.jpの講義要綱・シラバスを参照

#### 成績評価方法:

授業への参加状況、課題への取り組み、学期末のテストを合わせて総合的に評価します。

#### テキスト(教科書):

『標準ラテン文法』中山恒夫著 白水社 1987年 ISBN: 9784560017616

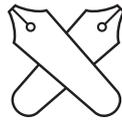
#### 担当教員から履修者へのコメント:

授業ごとの練習課題の解説は、次の授業時に行います。

春学期からの継続した受講をおすすめします。

#### 質問・相談:

メールで質問・相談を受け付けます。(メールアドレスは授業時に案内します。)



Keio University Hiyoshi campus

文学部 人文社会学科 1 学年 組
学籍番号
氏名

慶應義塾大学（日吉） 2022 年度